

2019年3月期第2四半期

決算説明資料

2018年10月26日
ソフトバンク・テクノロジー株式会社

目次

1. 第2次3か年計画の進捗	P 3
2. 業績概況	P10
3. 数値データ	P27
4. Appendix	P35

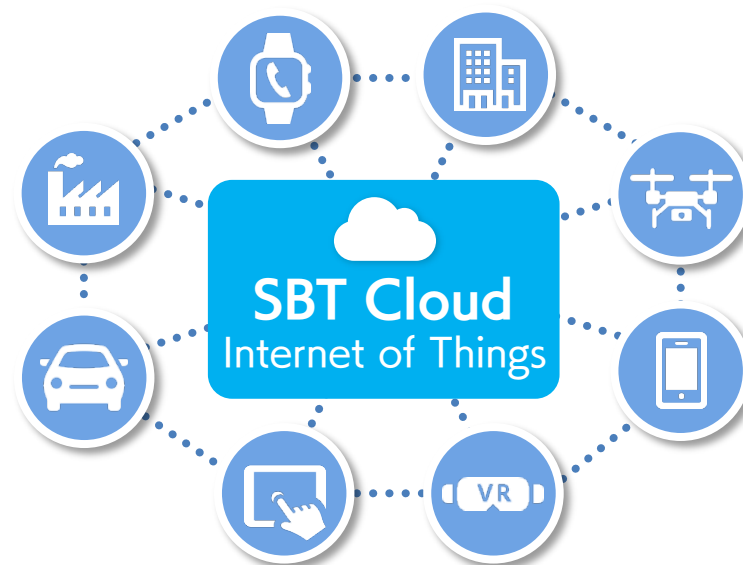
第2次3か年計画「基本戦略」 (FY16~18)

クラウドへの集約



+

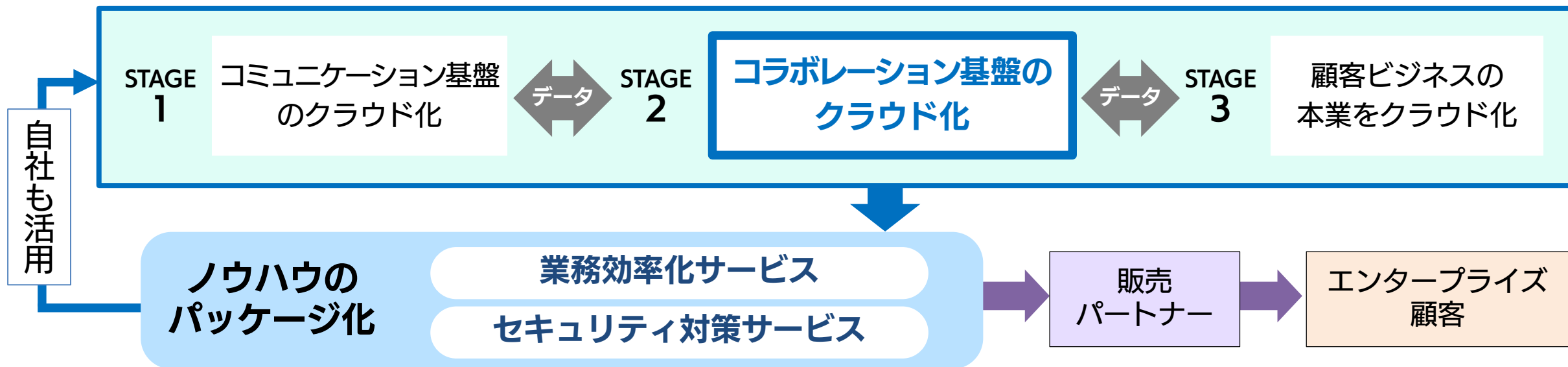
IoTビジネスの開発



お客様のビジネスパートナーへ

ITによるコスト低減に留まらず、システムのクラウド化で付加価値を提供
AIやIoTといった先端技術の知見をもって本業成長や新事業創出に貢献

「クラウドへの集約」の進捗



サービス開発の強化

クラウドサービスのブランド
clouXion を立ち上げ

AI活用による生産性向上

好調なセキュリティ監視・解析
サービス (MSS) にAIを導入

ビジネスIT(事業部門)への挑戦

戦略領域(ビジネスIT/STAGE3)で
一部不採算案件が発生

FY18の目標は、注力3事業の売上高構成比率30%台。注力3事業のサービス開発および事業拡大、AI活用による効率化やストック売上比率の向上により利益率の改善に寄与。

クラウドサービスのブランド「clouXion」立ち上げ

各産業トップクラス企業へのSIで得た知見をパッケージ化し、ブランド展開

企業におけるクラウド導入目的の変化

メール等のコミュニケーション



社内情報のデジタル化で
部門を超えたデータ活用を実現し、
働き方改革等の生産性向上を推進

- 堅牢なセキュリティ
- 業務効率化
- コスト最適化
- データ活用によるビジネス変革
- 経営判断のスピード化
- コミュニケーション活性化

認証・セキュリティ ソリューション



24時間365日体制でのログ・アラート監視
Microsoft 365 セキュリティ運用・監視



Active Directory でのクラウドサービス認証
ADFS on Cloud



Azure AD を利用したシングルサインオン
ADP on Cloud



クラウド社外利用の端末認証・アクセス制御
Online Service Gate



Office 365 の誤送信対策・アーカイブ機能
Mail Safe/Mail Vault



OneDrive をセキュアに利用するための機能
OneDrive for Business Security Pack

業務効率化 ソリューション



Office 365 と連携するチャットボット
Knowledge Bot



SharePoint と連携するワークフローサービス
Flow



クラウドのプロビジョニングおよびプロセスの自動化
Provisioning Flow



SharePoint モダン UI 対応のサイト構築
OnePortal Modern



SharePoint クラシック UI 対応のサイト構築
OnePortal Classic

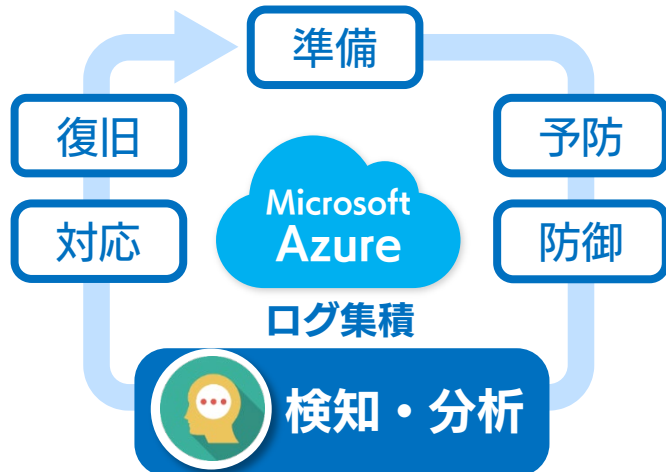
clouXion シリーズ合計

500社 / 90万ユーザー

マネージド・セキュリティ・サービス (MSS) の強化と効率化

ラインアップ拡張、SBTログ分析基盤にAI導入で効率化を実現

サイバーレジリエンス(回復力)の概念とMSS



セキュリティ専門家が24時間365日体制で提供

経験・知識をモデル化(AI)し、「SBT ログ分析基盤」で活用

SBTのメリット	セキュリティアナリストの業務負担が1/10に軽減
顧客のメリット	脅威検出のスピード向上と高度な分析アドバイス

- 
Webセキュリティ
MSS for Imperva Incapsula
- 
メールセキュリティ
MSS for FireEye ETP
- 
エンドポイントセキュリティ
MSS for EDR (Cybereason / Windows Defender ATP)
- 
統合脅威管理製品
MSS for UTM (Fortinet / Palo Alto Networks)
- 
サーバーセキュリティ
MSS for Trend Micro Deep Security
- 
社内ネットワークセキュリティ/標的型攻撃の可視化
MSS for Trend Micro DDI



セキュリティ監視センター



ネットワークオペレーションセンター

「IoTビジネスの開発」の進捗

デバイス側



IoTデバイス
セキュリティ



デジタル
フォント



クラウド側



クラウド開発
クラウドセキュリティ
データ解析・AI



農業情報の
利活用



IoTアプリ

チップ、ボード、組み込み領域
月額サービス料、レベニューシェア

クラウド開発、データ利活用
開発から運用サービスまで

デバイス側：SIOTP利用者獲得

クラウド側：提供基盤立ち上げ

ビジネスモデルの確立

セキュア IoT プラットフォーム
評価用 SDKの提供開始

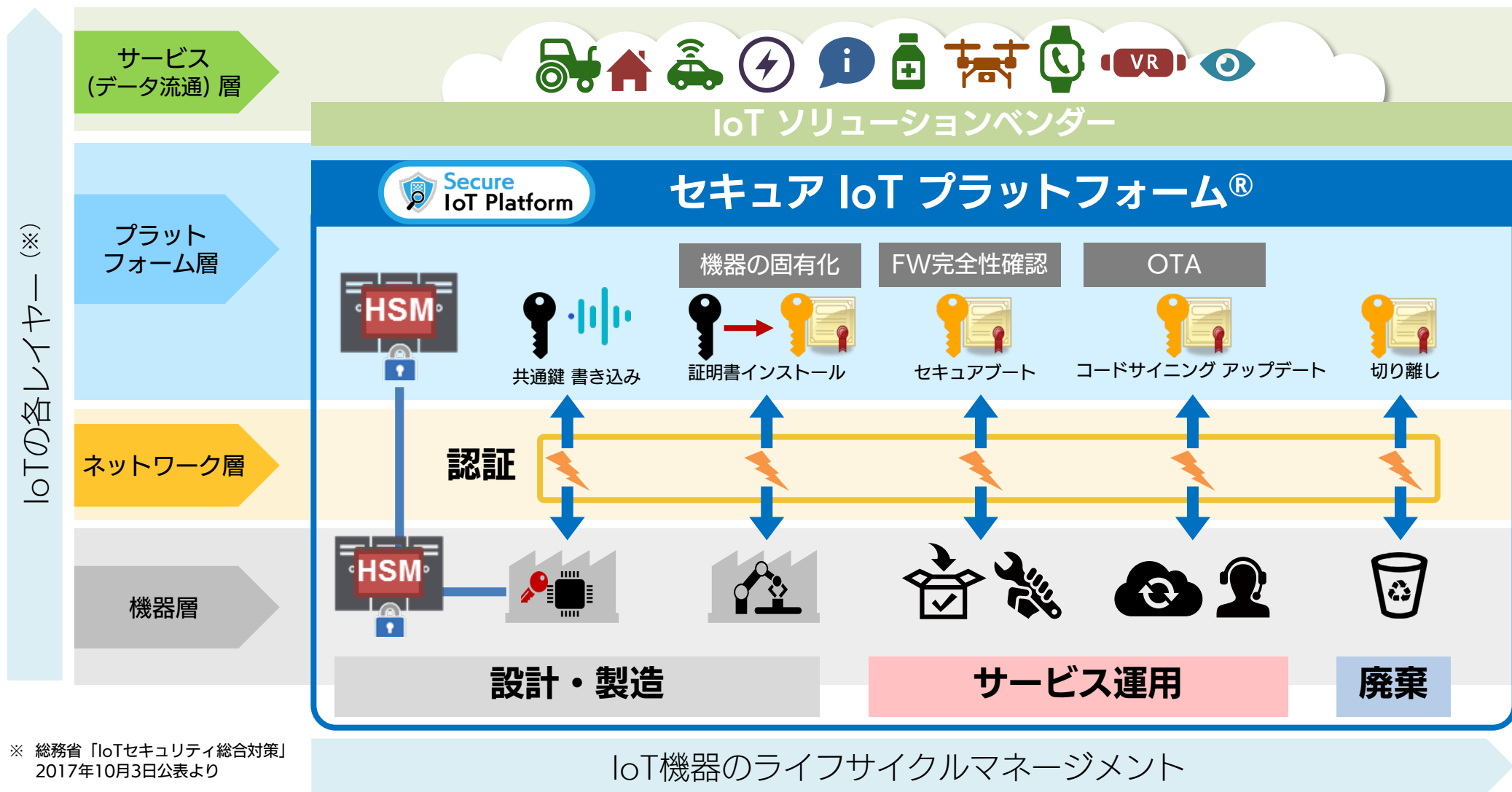
メーカー製品をIoT化するサービス
IoT Core Connect の提供開始

IoTビジネスの収益化は計画通り
来年度以降となる見込み

デバイス側のサービス提供基盤に加えて、クラウド側のサービス提供基盤を開発。これらのプラットフォームを軸にエコシステムとビジネスモデル確立に向け、アライアンスやPoC（実証実験）を継続中。

セキュア IoT プラットフォーム (デバイス側：サイバートラスト社)

事業推進のストラクチャーを整備 (合併) → 実案件対応メインにシフト



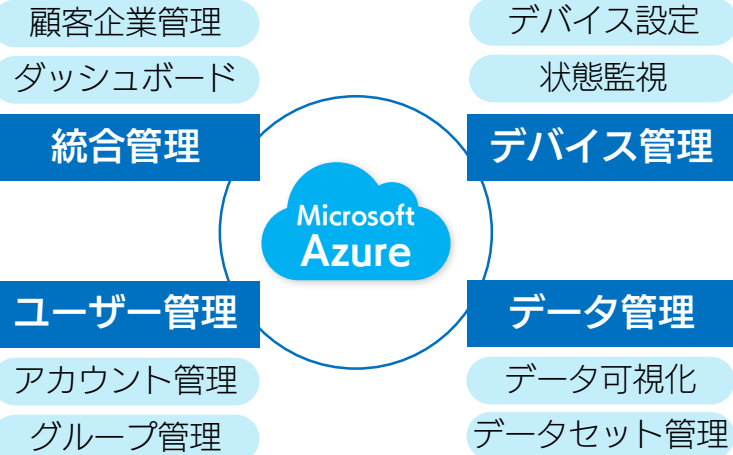
※ 総務省「IoTセキュリティ総合対策」
2017年10月3日公表より

IoT Core Connect (クラウド側：ソフトバンク・テクノロジー)

モノやサービスとAI / IoTを連携させるプラットフォーム



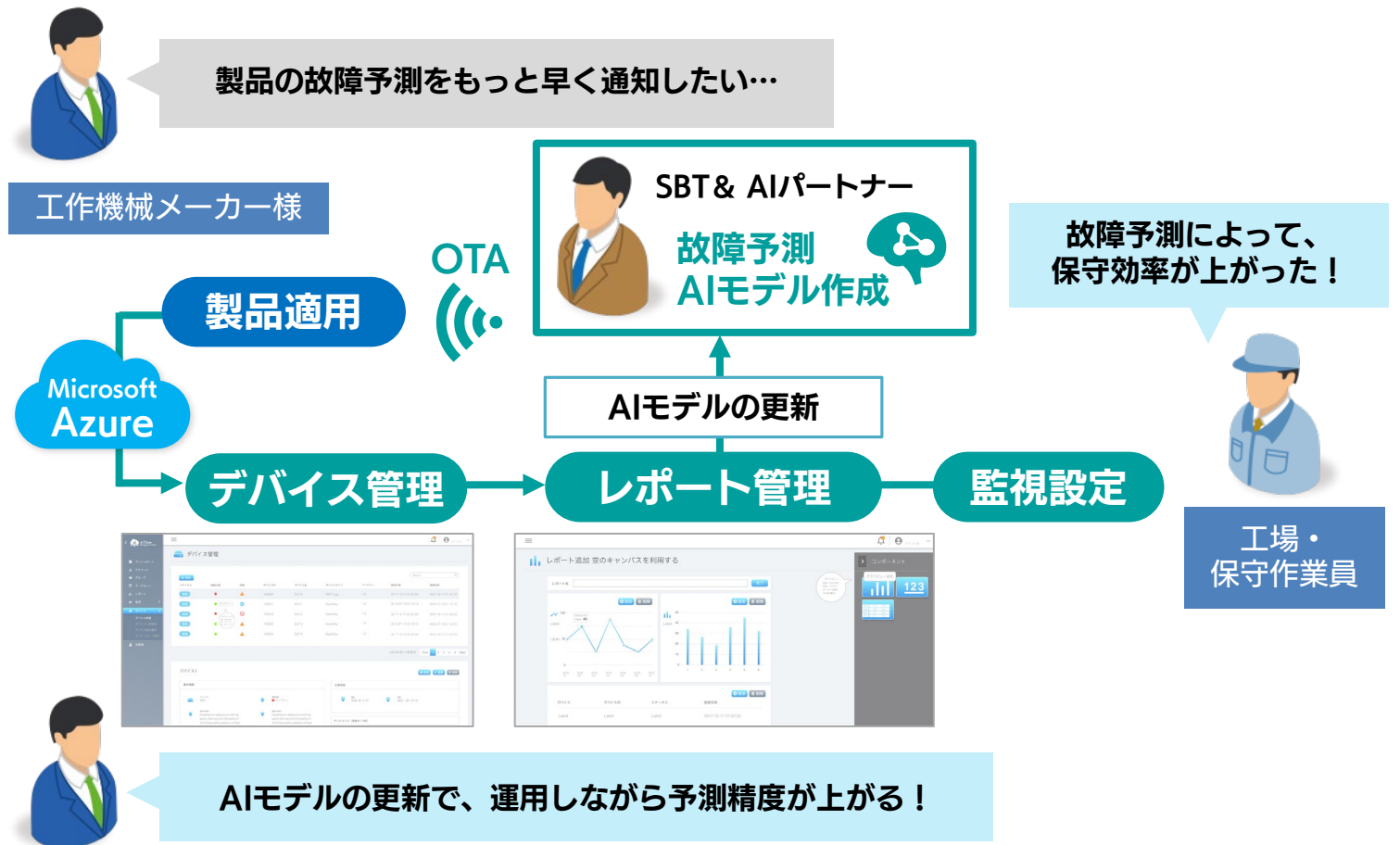
基本機能



拡張機能



【活用例】 異常検知予測とAI活用による予測精度の向上



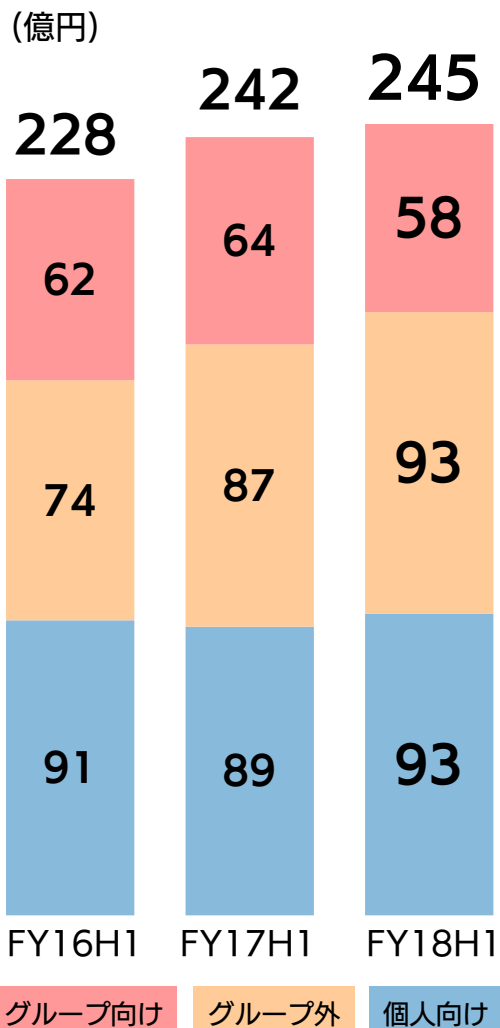
業績概況

連結 2019年3月期上期業績（前年同期比）

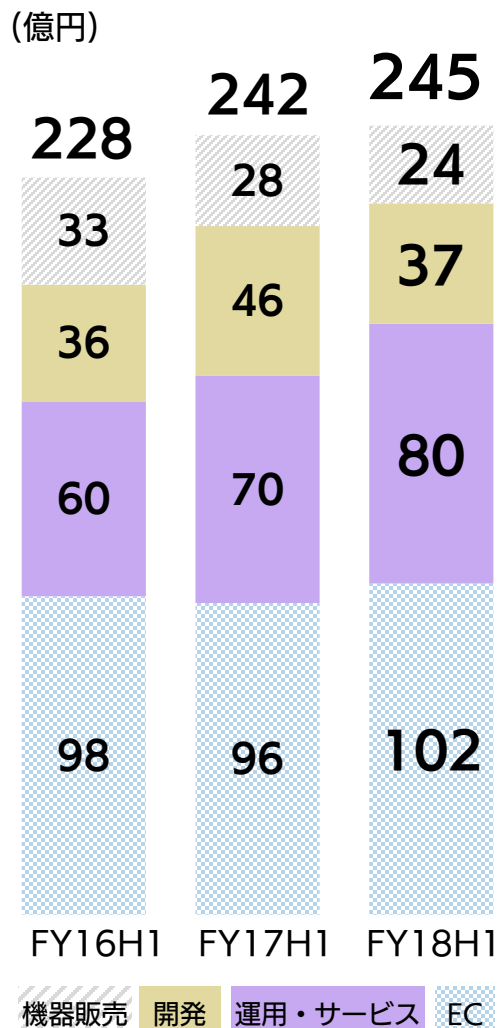
(百万円)	FY18H1	FY17H1	増減額	増減率
売上高	24,561	24,203	+358	+1.5%
限界利益	7,013 (28.6%)	6,480 (26.8%)	+533 (+1.8pt)	+8.2%
固定費	5,999	5,759	+239	+4.2%
営業利益	1,014 (4.1%)	720 (3.0%)	+293 (+1.1pt)	+40.8%
経常利益	778 (3.2%)	693 (2.9%)	+85 (+0.3pt)	+12.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	487 (2.0%)	412 (1.7%)	+75 (+0.3pt)	+18.2%

連結 顧客別・形態別売上の状況

顧客別



形態別



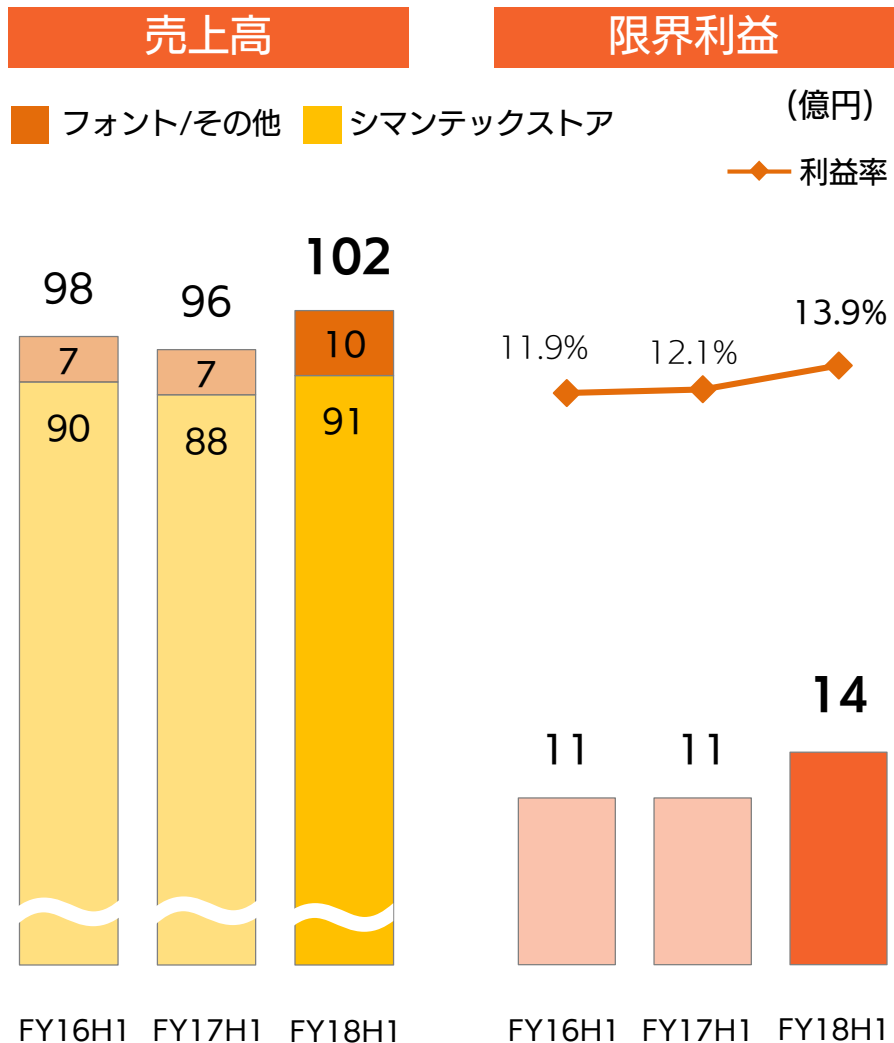
顧客別 トピックス

- ソフトバンクグループ向けのビジネスは、FY17Q2より機器販売を終了した影響で減収
- エンタープライズビジネス（ソフトバンクグループ外）は、クラウド移行及びセキュリティ対策案件が順調に推移、フォント事業のビジネスモデル変更もあり、増収
- 個人向けビジネス（ECサービス事業）は堅調に推移

形態別 トピックス

- 開発売上高は、前期あったソフトバンクグループ向けおよび公共向けのスポット開発案件が減少し、前々期並み
- 運用・サービス売上高は、ソフトバンクグループ向けの運用サービスやセキュリティ運用・監視サービスが増加し増収

連結 ECサービス事業の進捗



🛒 ECサービス (主な顧客：個人)

- ECサイト運営代行サービス
- フォントセットの開発・販売及びウェブフォントサービス など

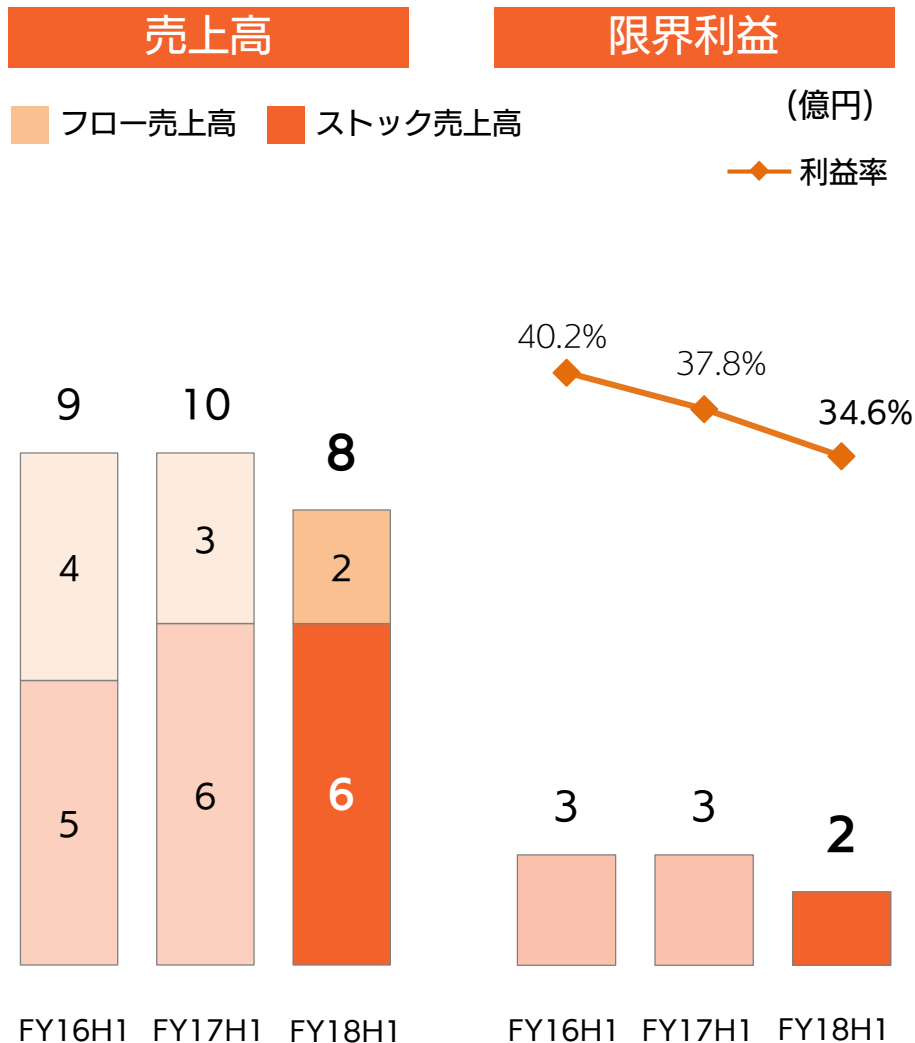
【売上高】

- シマンテック事業において高機能製品への切り替えが堅調に推移し増収
- フォントサービスの新規ユーザー増加とビジネスモデルの変更

【限界利益】

- 高利益率なフォント事業の拡大により増益

連結 データアナリティクス事業の進捗



データアナリティクス (主な顧客：法人・官公庁)

- ウェブサイトとデータ基盤の構築
- アクセスログ解析ツール
- データ解析及びコンサルティングサービス など

【売上高】

- FY16H1に行った戦略の見直し以降、デジタルコンテンツ管理基盤の開発案件やアクセス解析ツールの販売数が漸減傾向

【限界利益】

- 売上高の減少に伴い減益

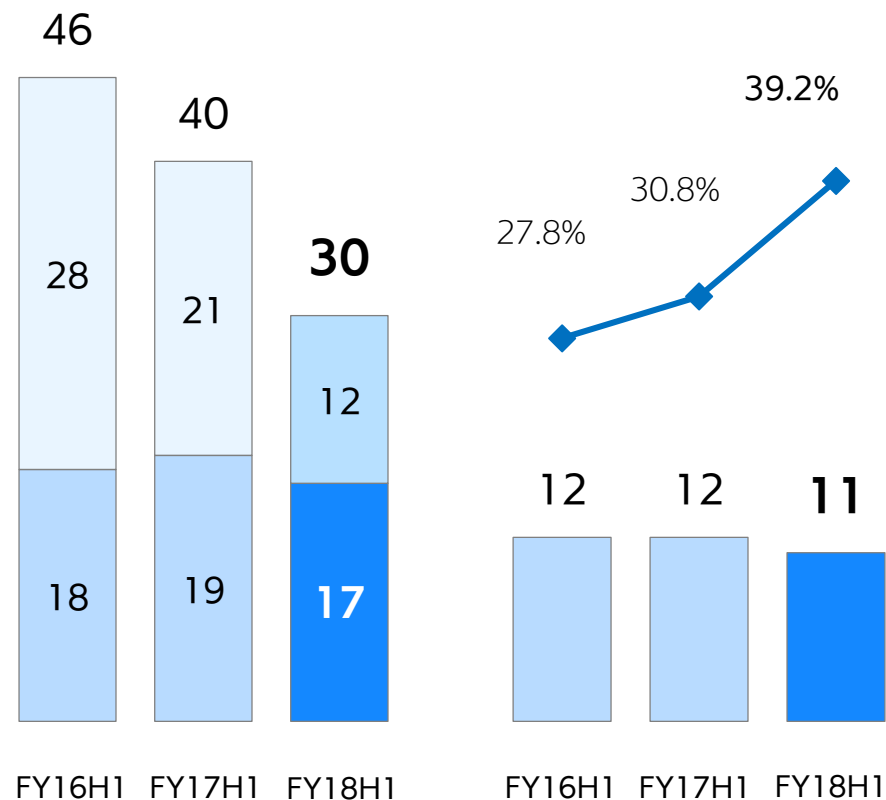
売上高

限界利益

フロー売上高 スtock売上高

(億円)

◆ 利益率



ITインフラソリューション (主な顧客：SBグループ)

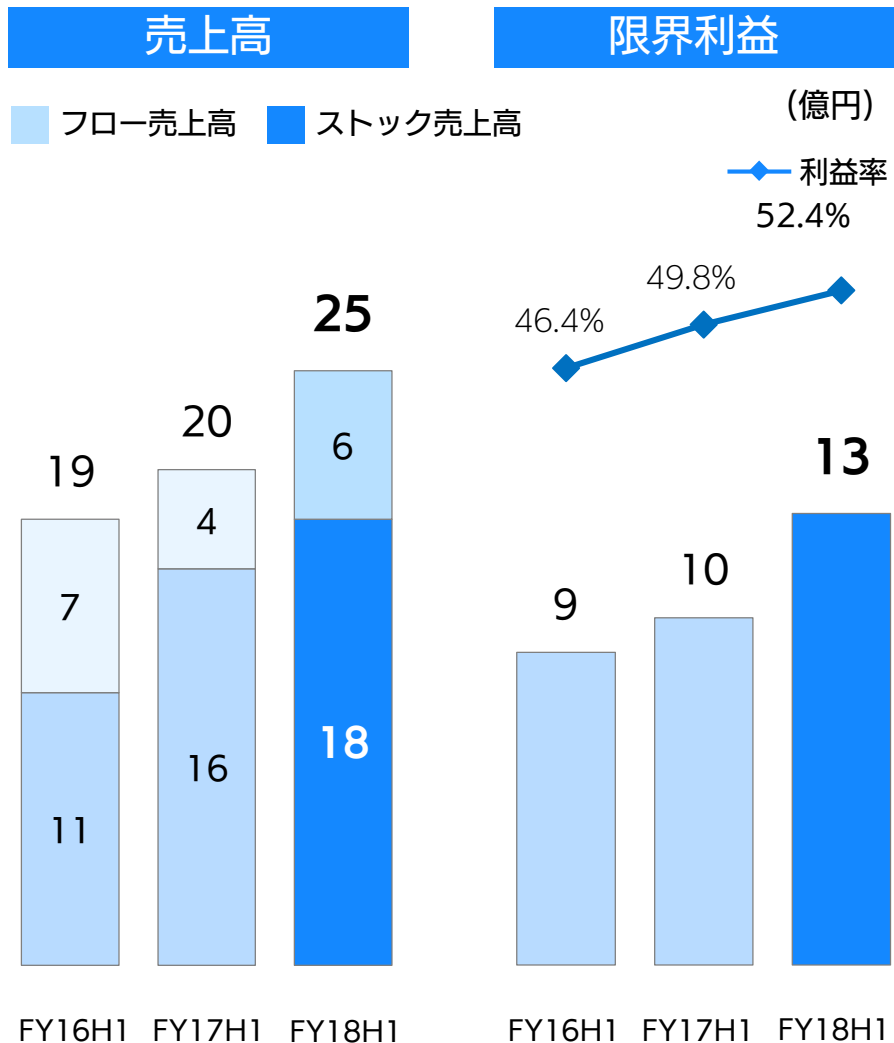
- IT基盤の構築と運用保守サービス、サーバーやネットワーク機器の販売
- Linuxをはじめ、サーバーアプリケーションや基幹システムにオープンソースソフトウェア (OSS) を利用するための統合監視ツールやシステムバックアップ など

【売上高】

- FY17Q2から付加価値の創出や維持が難しい特定のハードウェア機器の販売を終了した影響で減収
※▲9.5億が通期にわたり影響

【限界利益】

- 低採算な機器販売の終了により利益率が改善



セキュリティソリューション (主な顧客：法人・官公庁)

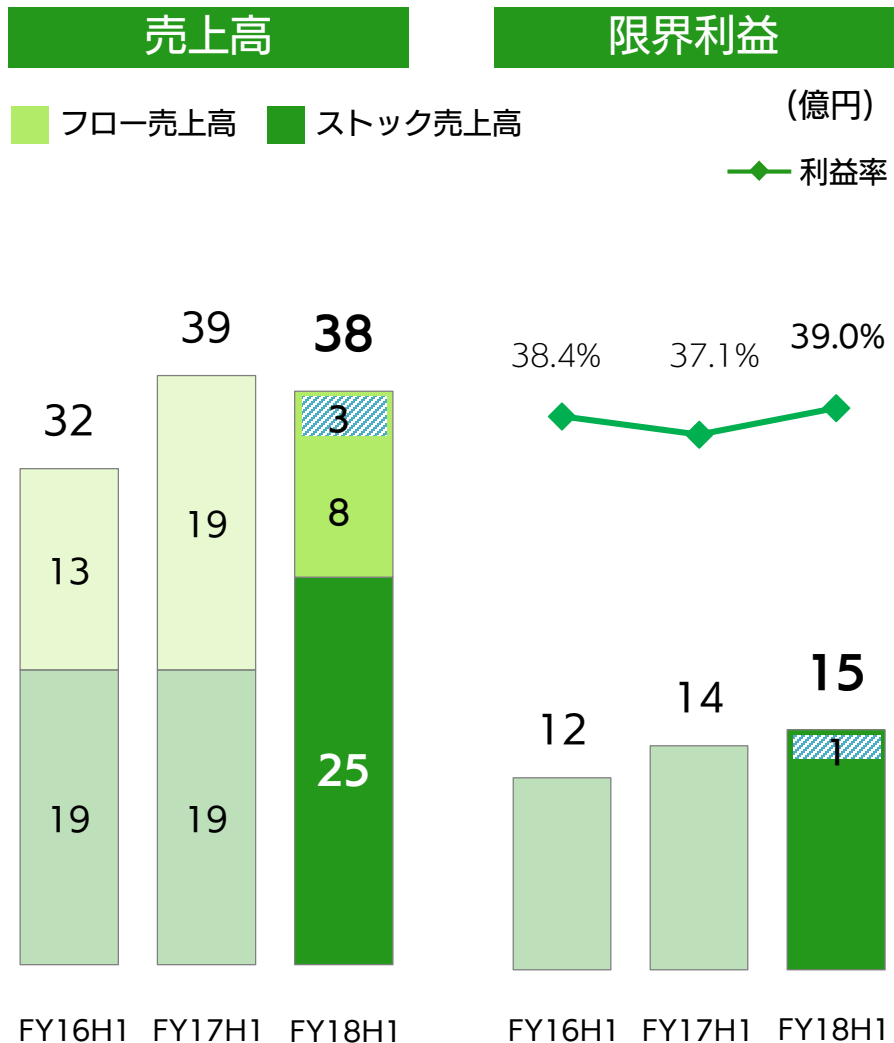
- 脆弱性診断テストや標的型サイバー攻撃対策
- 電子証明書を利用した認証や暗号化サービス
- 24時間365日のセキュリティ運用 (監視、分析) サービス など

【売上高】

- 電子認証サービス、およびセキュリティ運用サービスの受注が増加し増収

【限界利益】

- 高利益率な自社サービスが好調な推移に加え、自治体情報セキュリティクラウドの運用効率、MSS(※)のAI活用等により利益率が増加



システムインテグレーション (主な顧客：SBグループ)

- 社内システムの設計・開発と運用保守サービス
- 事業部門向け業務アプリケーション、システムの開発と運用保守サービス
- タブレット端末やスマートフォン及びロボット用アプリケーションの開発 など

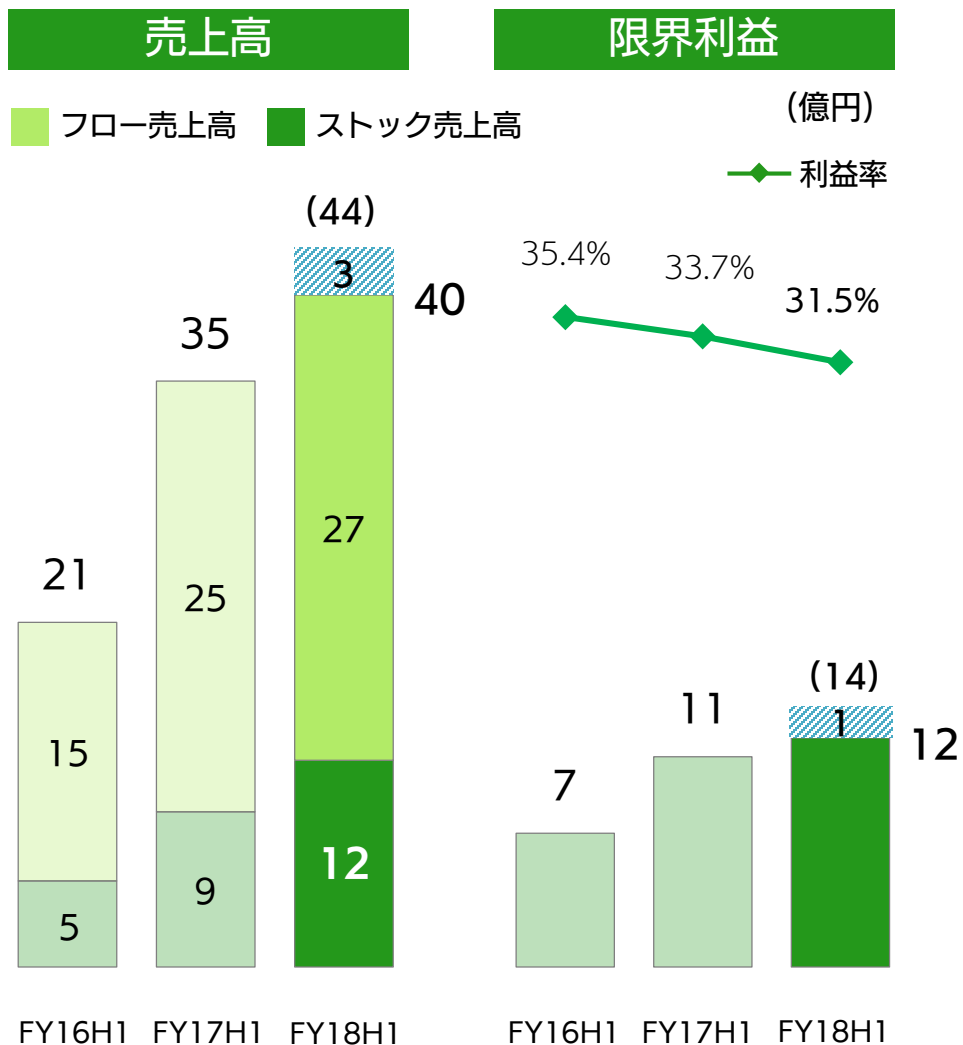
【売上高】

- ビジネスIT領域と運用サービス案件へのシフトを推進、これによりスポット開発案件が減少し、運用サービス案件が増加

▨ … グループ向クラウド開発案件 (売上 3.9億円/限界利益 1.7億円) を含む

【限界利益】

- ニアショア拡大、コア・パートナー制度の推進により利益率が改善



クラウドソリューション (主な顧客：法人・官公庁)

- マイクロソフト社のライセンス販売
- 情報システムのクラウド化に関する設計、開発、導入支援
- 業務効率化及び認証・セキュリティサービス など

【売上高】

- コミュニケーション基盤のクラウド化需要が継続
- エンタープライズモビリティ(※)需要が増加、デバイス管理やデータ保護等の統合管理ソリューションが伸長
- clouXionや運用サービス案件が堅調に推移

… グループ向けクラウド開発案件を加えると売上 44億円/限界利益 14億円

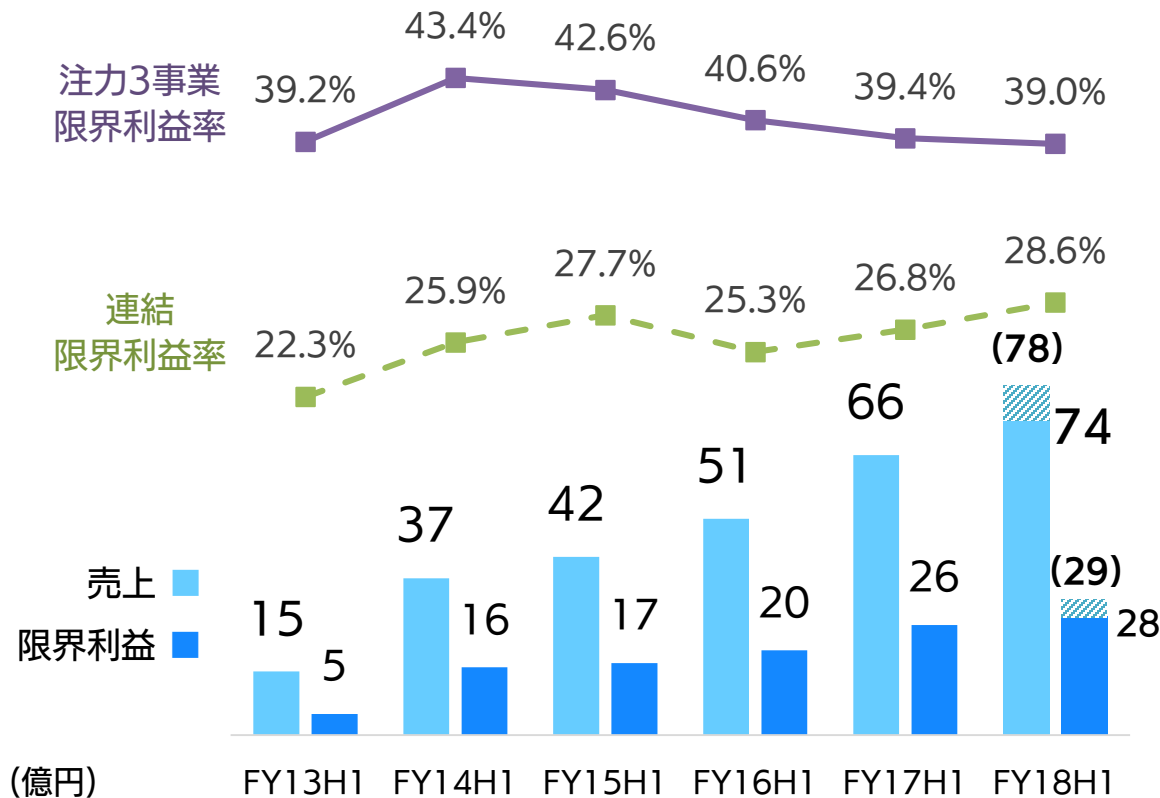
【限界利益】

- ビジネスIT(事業システム)で一部不採算案件が発生
- ライセンス販売の先行もあり利益率が低下

注力3事業H1業績の推移

前年同期比で売上+12%、限界利益+10%成長

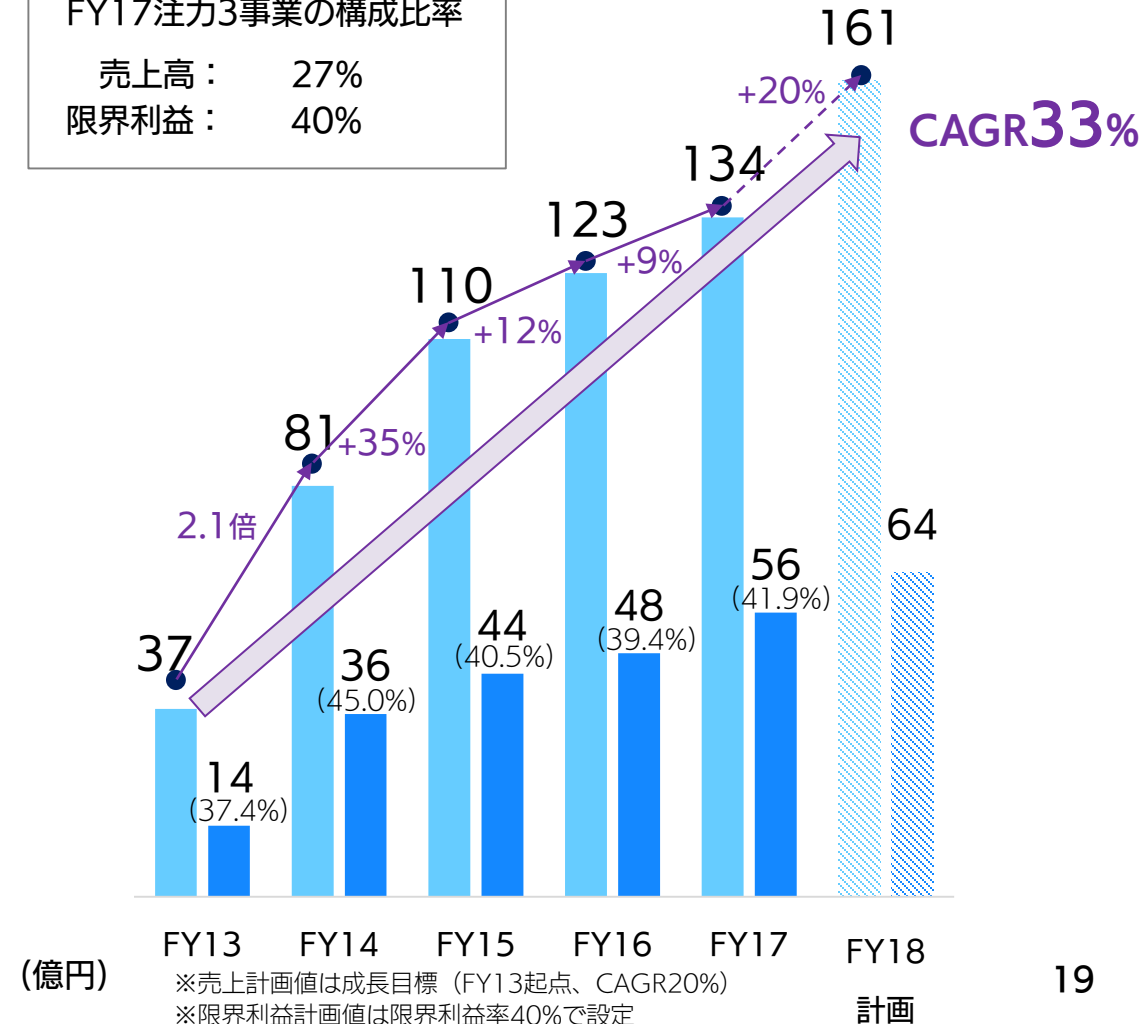
グループ向クラウド開発案件を加えると売上78億円(+17%成長)に



【参考】注力3事業通期業績の推移

FY17注力3事業の構成比率

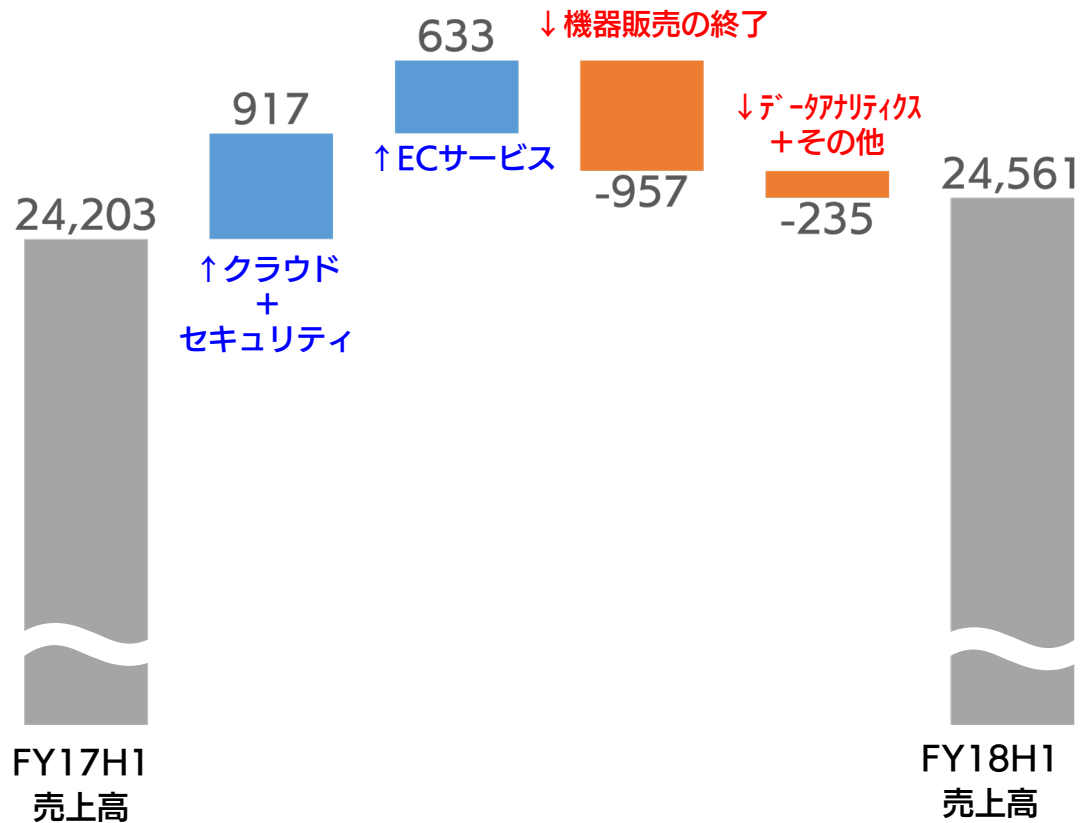
売上高： 27%
限界利益： 40%



利益率の高い注力事業の拡大を図り、限界利益率を改善（+1.8pt）

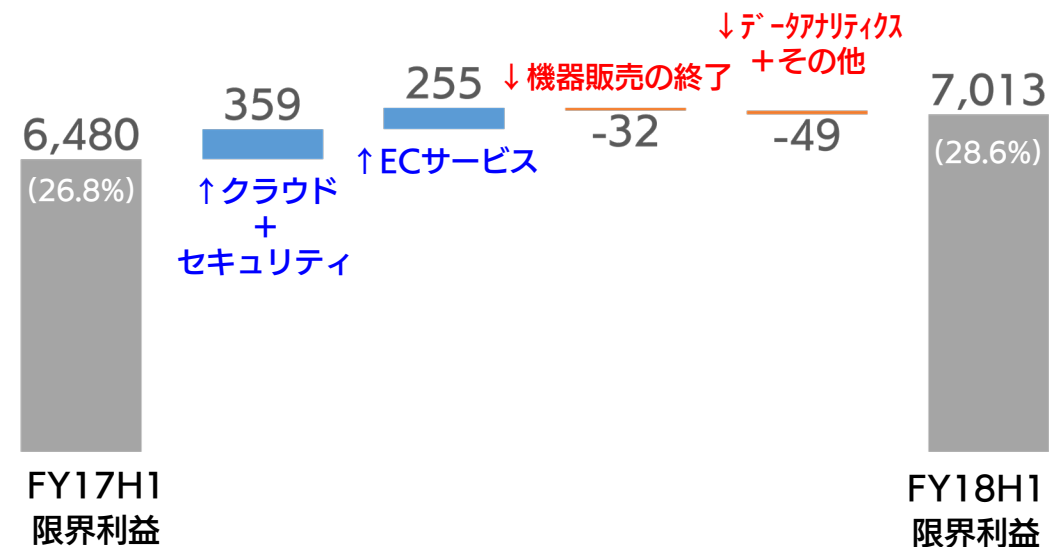
売上高の増減

(百万円)



限界利益の増減

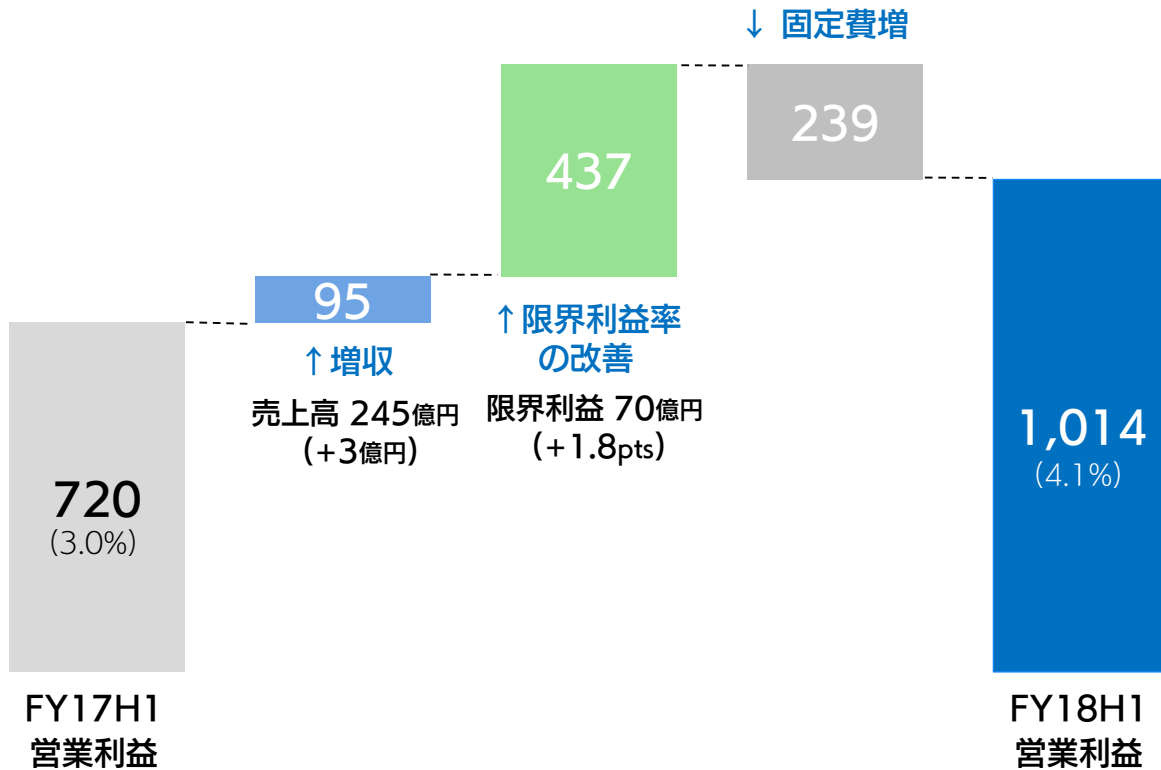
(百万円)



営業利益の前年同期比

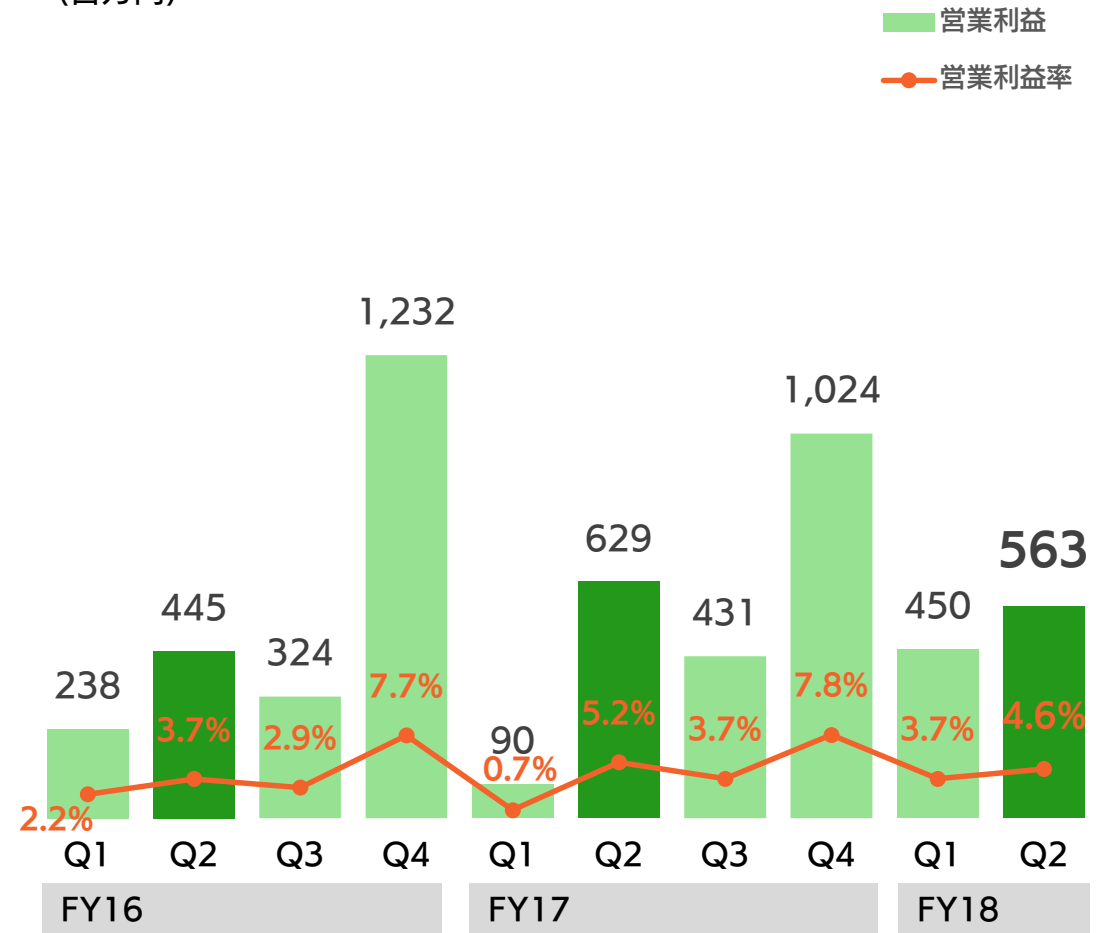
営業利益の増減

(百万円)



営業利益の推移

(百万円)

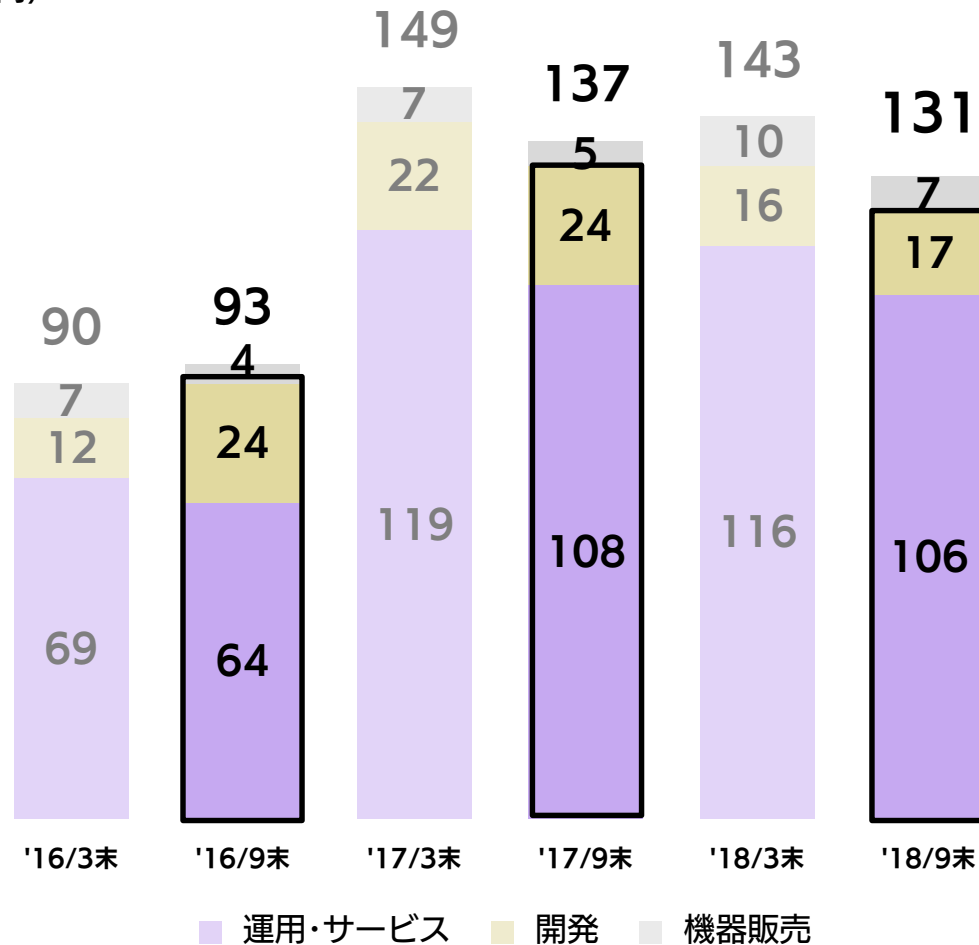


単体 受注残高 (ECサービスを除く)

※ 受注残高は工事進行基準計上分を除いた金額を記載しております

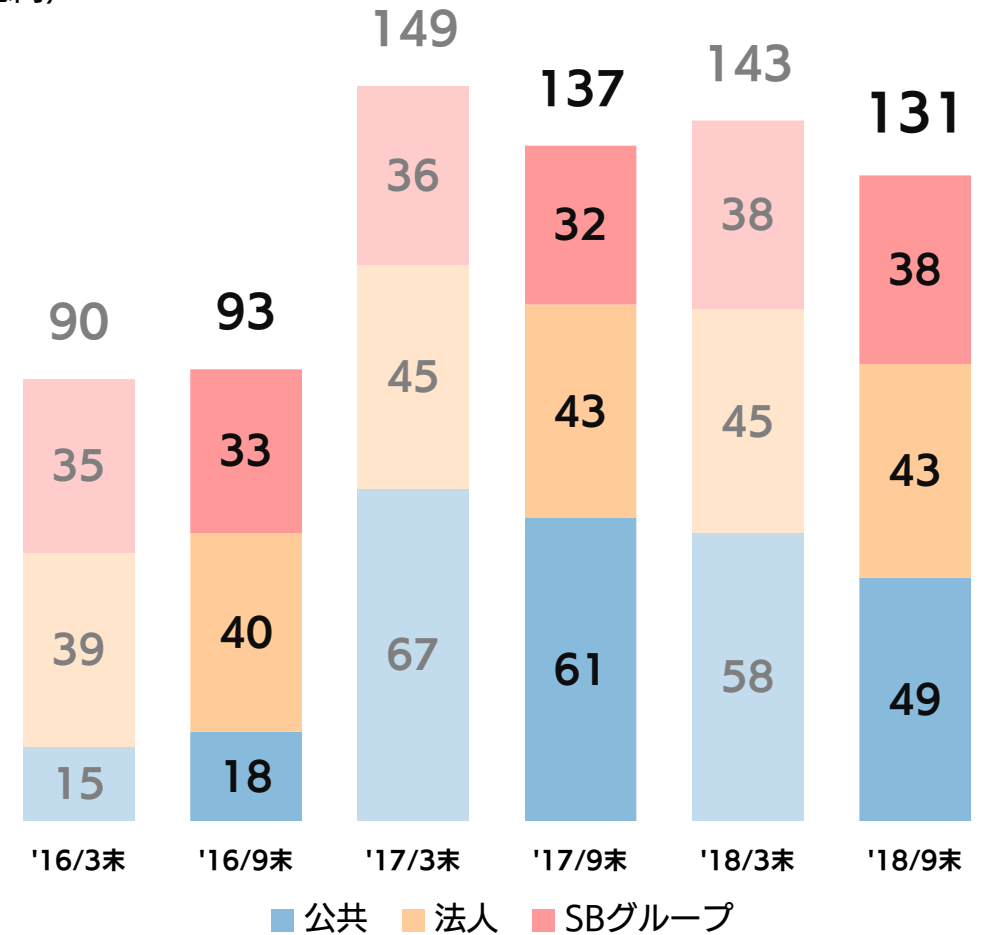
形態別受注残高

(億円)



顧客別受注残高

(億円)



Q1 (4-6月)

クラウド・セキュリティが計画上振れ

- クラウド、セキュリティ事業が好調に推移
- 低採算な機器販売終了でITインフラ売上減少
- フォント事業収益がQ4からQ1偏重に変更

Q2 (7-9月)

ほぼ計画通りに推移

- セキュリティ事業、ECサービス事業が好調
- クラウドはモビリティ領域好調も一部不採算発生
- データアナリティクス事業の軟調が継続

H1 (4-9月)

セキュリティ事業が成長を牽引、計画線で進捗

- **注力3事業の成長 (目標:合計売上高年率+20%)**
セキュリティソリューション事業が好調、クラウドソリューション事業におけるクラウド化STAGE3 (ビジネスIT / 基幹システム) 領域における一部不採算案件発生、データアナリティクス事業が軟調に推移した結果、3事業合計売上高は前年同期比12%の伸長で着地
- **事業のサービス化が進展**
売上高および固定費は前年同期並みに推移、自社サービスの販売強化や機器販売終了などにより限界利益率が向上し、営業利益率が前年同期比で1.1pt向上

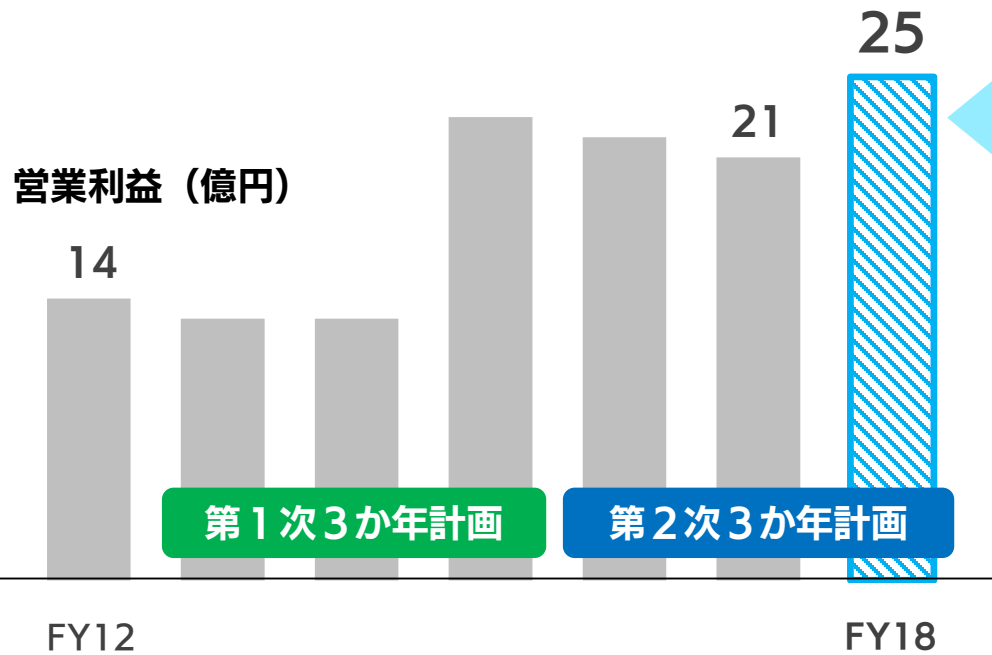
連結 2019年3月期業績の見通し（業績予想比）

- 第2次3か年計画の最終年度として成長投資を最優先
- クラウド・セキュリティ事業拡大で営業利益25億円の達成を目指す

(百万円)	FY18H1 実績	期初業績予想 (2018年4月25日)	進捗率	FY17H1 (通期実績)	対通期実績 進捗率
売上高	24,561	52,000	47.2%	24,203 (49,140)	49.3%
営業利益	1,014 (4.1%)	2,500 (4.8%)	40.6%	720 (2,176)	33.1%
経常利益	778 (3.2%)	2,500 (4.8%)	31.2%	693 (2,399)	28.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	487 (2.0%)	1,600 (3.1%)	30.5%	412 (1,556)	26.5%

第2次3か年計画最終年度の取り組み（成長投資）

下期もFY19以降に向けた
中長期的な取り組みを継続して実施



長期的取り組み

SBTの10年後の姿をグループ全社で討議
“Vision2030”の実施

従業員も一丸となって目標達成へ
従業員持株会制度

中期的取り組み

営業利益30億円台の
土台作り

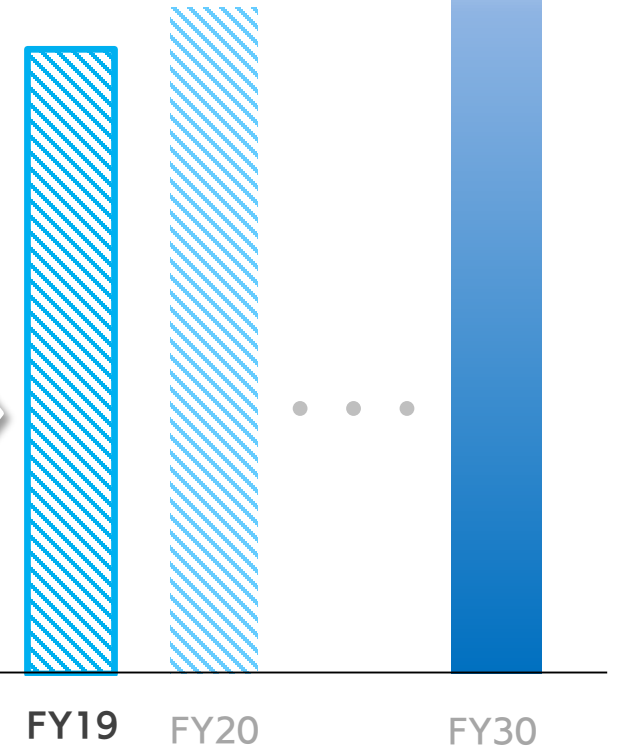
事業領域と売上の拡大

- IoTビジネス開発とPOC
- ビジネスITへの挑戦

利益率向上

- サービス開発の促進
- AI活用による業務効率化

人材の採用と教育



情報革命で人々を幸せに

～ 技術の力で、未来をつくる～

 SoftBank Technology

数値データ

【参考】各事業の内容・特徴について

ECサービス

ECサイト運営代行サービス、フォントセットの開発・販売及びウェブフォントサービスを提供。シマンテックストアは生活者向けのビジネスで、日本を含めた5つの国と地域で展開。フォント事業はFY18よりビジネスモデル変更（メディア発送からライセンスダウンロード）の影響で、収益がQ4偏重からQ1偏重となる。

データアナリティクス

第1次3か年計画の1年目（FY13）より注力事業に設定、ウェブサイトとデータ基盤の構築、マーケティング活動にデータを活用するための解析とコンサルティング及び解析ツール等を提供。FY16Q2よりマーケティング領域のソリューションは戦略を見直し、クラウド化による社内データの活用やIoT領域におけるデータ解析等へのシフトを進めている。

ITインフラソリューション

主にソフトバンクグループ各社を対象に、IT基盤の構築と運用保守サービス、サーバーやネットワーク機を販売。その他、組込み用途のLinuxをはじめ、サーバーアプリケーションや基幹システムにオープンソースソフトウェア（OSS）を利用するための統合監視ツールやシステムバックアップを提供。FY17Q2より低採算な機器販売を終了している。

セキュリティソリューション

第1次3か年計画の1年目（FY13）より注力事業に設定、脆弱性診断テストや標的型サイバー攻撃対策、電子証明書を利用した認証や暗号化サービス等を提供。FY16Q1より、攻撃者に侵入されることを前提としたセキュリティ対策需要の高まりを受け、当社専門家が24時間セキュリティ運用（監視、分析）を行うマネージド・セキュリティ・サービス（MSS）の提供を開始。

システムインテグレーション

主にソフトバンクグループ各社を対象に、コーポレートIT（情報システム部門向け）とビジネスIT（事業部門向け）の両方で、情報システムの設計・開発と運用保守サービス、業務アプリケーション開発、タブレット端末やスマートフォン及びロボット用アプリケーションの開発等を提供。ワンショットの開発からサービス提供にシフトを進めている。

クラウドソリューション

第1次3か年計画の1年目（FY13）より注力事業に設定、マイクロソフト社のOffice 365やAzure等を利用したソリューションや自社サービスを提供。コミュニケーション基盤のクラウド導入が一巡。社内情報のデジタル化と部門を超えたデータ活用や働き方改革を推進するコラボレーション基盤を実現するソリューションやclouXion（サービスのブランド）の提供にシフト中。

連結業績	FY18H1		FY17H1		前年同期比	
	金額 (百万円)	利益率	金額 (百万円)	利益率	増減額 (百万円)	増減率
売上高	24,561	-	24,203	-	+358	+1.5%
デジタルマーケティング	11,103	-	10,620	-	+482	+4.5%
プラットフォームソリューション	5,573	-	6,138	-	▲564	▲9.2%
クラウドシステム	7,885	-	7,444	-	+440	+5.9%
売上原価	20,545	-	20,514	-	+31	+0.2%
売上総利益	4,015	16.4%	3,689	15.2%	+326	+8.8%
販売管理費	3,001	-	2,969	-	+32	+1.1%
営業利益	1,014	4.1%	720	3.0%	+293	+40.8%
営業外損益	▲235	-	▲27	-	▲207	-
経常利益	778	3.2%	693	2.9%	+85	+12.4%
特別損益	23	-	12	-	+10	+82.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	487	2.0%	412	1.7%	+75	+18.2%
連結 限界利益	7,013	28.6%	6,480	26.8%	+533	+8.2%
連結 固定費	5,999	-	5,759	-	+239	+4.2%
単体 受注残高	13,164	-	13,767	-	▲603	▲4.4%

		FY18H1	FY17H1	増減	増減率
連結業績 (百万円)	売上高	24,561	24,203	+358	+1.5%
	限界利益	7,013	6,480	+533	+8.2%
	利益率	28.6%	26.8%	+1.8pt	-
デジタルマーケティング	売上高	11,103	10,620	+482	+4.5%
	限界利益	1,719	1,548	+170	+11.0%
	利益率	15.5%	14.6%	+0.9pt	-
(1)ECサービス	売上高	10,237	9,604	+633	+6.6%
	限界利益	1,420	1,164	+255	+21.9%
	利益率	13.9%	12.1%	+1.8pt	-
注力 (2)データアナリティクス	売上高	865	1,015	▲150	▲14.8%
	限界利益	299	383	▲84	▲22.1%
	利益率	34.6%	37.8%	▲3.2pt	-
プラットフォームソリューション	売上高	5,573	6,138	▲564	▲9.2%
	限界利益	2,520	2,288	+232	+10.2%
	利益率	45.2%	37.3%	+7.9pt	-
(1)ITインフラソリューション	売上高	3,032	4,041	▲1,008	▲25.0%
	限界利益	1,188	1,244	▲56	▲4.5%
	利益率	39.2%	30.8%	+8.4pt	-
注力 (2)セキュリティソリューション	売上高	2,540	2,096	+443	+21.2%
	限界利益	1,332	1,043	+288	+27.6%
	利益率	52.4%	49.8%	+2.6pt	-
クラウドシステム	売上高	7,885	7,444	+440	+5.9%
	限界利益	2,774	2,643	+130	+4.9%
	利益率	35.2%	35.5%	▲0.3pt	-
(1)システムインテグレーション	売上高	3,868	3,901	▲33	▲0.9%
	限界利益	1,508	1,449	+58	+4.1%
	利益率	39.0%	37.1%	+1.9pt	-
注力 (2)クラウドソリューション	売上高	4,016	3,543	+473	+13.4%
	限界利益	1,265	1,194	+71	+6.0%
	利益率	31.5%	33.7%	▲2.2pt	-
注力3事業 合計	売上高	7,422	6,655	+767	+11.5%
	限界利益	2,897	2,622	+274	+10.5%
	利益率	39.0%	39.4%	▲0.4pt	-

		FY16Q1	FY16Q2	FY16Q3	FY16Q4	FY16	FY17Q1	FY17Q2	FY17Q3	FY17Q4	FY17	FY18Q1	FY18Q2
連結業績 (百万円)	売上高	10,671	12,192	11,380	15,982	50,225	12,126	12,077	11,727	13,209	49,140	12,258	12,303
	限界利益	2,679	3,104	2,997	4,085	12,867	2,984	3,496	3,331	3,932	13,744	3,406	3,607
	利益率	25.1%	25.5%	26.3%	25.6%	25.6%	24.6%	28.9%	28.4%	29.8%	28.0%	27.8%	29.3%
デジタルマーケティング	売上高	5,496	5,333	5,582	5,641	22,053	5,388	5,232	5,785	5,564	21,970	5,683	5,419
	限界利益	793	772	781	872	3,220	753	794	829	823	3,200	923	795
	利益率	14.4%	14.5%	14.0%	15.5%	14.6%	14.0%	15.2%	14.3%	14.8%	14.6%	16.2%	14.7%
(1)ECサービス	売上高	5,020	4,816	5,058	5,119	20,015	4,882	4,722	5,245	5,049	19,900	5,241	4,995
	限界利益	603	563	566	648	2,381	569	594	621	623	2,408	776	643
	利益率	12.0%	11.7%	11.2%	12.7%	11.9%	11.7%	12.6%	11.8%	12.3%	12.1%	14.8%	12.9%
注力 (2)データアナリティクス	売上高	475	516	523	522	2,038	505	510	539	515	2,070	441	423
	限界利益	189	209	214	224	838	183	200	207	200	791	146	152
	利益率	39.9%	40.6%	41.0%	43.0%	41.1%	36.3%	39.3%	38.5%	38.9%	38.2%	33.2%	36.0%
プラットフォームソリューション	売上高	2,656	3,995	3,060	5,146	14,859	3,446	2,691	2,477	2,940	11,555	2,669	2,904
	限界利益	1,012	1,202	1,085	1,420	4,720	1,130	1,158	1,142	1,375	4,805	1,202	1,317
	利益率	38.1%	30.1%	35.5%	27.6%	31.8%	32.8%	43.0%	46.1%	46.8%	41.6%	45.1%	45.4%
(1)ITインフラソリューション	売上高	1,846	2,831	1,824	3,499	10,001	2,463	1,577	1,412	1,677	7,131	1,448	1,584
	限界利益	581	716	566	740	2,605	628	615	577	678	2,500	554	633
	利益率	31.5%	25.3%	31.1%	21.1%	26.0%	25.5%	39.0%	40.9%	40.5%	35.1%	38.3%	40.0%
注力 (2)セキュリティソリューション	売上高	809	1,164	1,236	1,646	4,857	983	1,113	1,064	1,263	4,424	1,221	1,319
	限界利益	430	485	519	680	2,115	501	542	564	696	2,305	647	684
	利益率	53.2%	41.7%	42.0%	41.3%	43.6%	51.0%	48.7%	53.1%	55.2%	52.1%	53.0%	51.9%
クラウドシステム	売上高	2,518	2,863	2,736	5,194	13,312	3,290	4,153	3,465	4,704	15,614	3,906	3,978
	限界利益	873	1,128	1,131	1,792	4,926	1,100	1,543	1,359	1,733	5,737	1,280	1,493
	利益率	34.7%	39.4%	41.3%	34.5%	37.0%	33.4%	37.1%	39.2%	36.9%	36.7%	32.8%	37.5%
(1)システムインテグレーション	売上高	1,411	1,832	2,103	2,472	7,820	1,828	2,073	2,037	2,712	8,651	1,800	2,067
	限界利益	544	701	852	899	2,997	672	776	764	987	3,201	717	790
	利益率	38.6%	38.3%	40.5%	36.4%	38.3%	36.8%	37.5%	37.5%	36.4%	37.0%	39.8%	38.3%
注力 (2)クラウドソリューション	売上高	1,106	1,030	633	2,722	5,492	1,462	2,080	1,427	1,991	6,962	2,105	1,911
	限界利益	329	426	279	893	1,928	428	766	595	746	2,536	562	703
	利益率	29.8%	41.4%	44.0%	32.8%	35.1%	29.3%	36.8%	41.7%	37.5%	36.4%	26.7%	36.8%
注力3事業 合計	売上高	2,392	2,711	2,393	4,890	12,388	2,951	3,703	3,031	3,770	13,457	3,767	3,654
	限界利益	949	1,122	1,013	1,798	4,883	1,113	1,508	1,368	1,643	5,633	1,356	1,540
	利益率	39.7%	41.4%	42.3%	36.8%	39.4%	37.7%	40.7%	45.1%	43.6%	41.9%	36.0%	42.1%

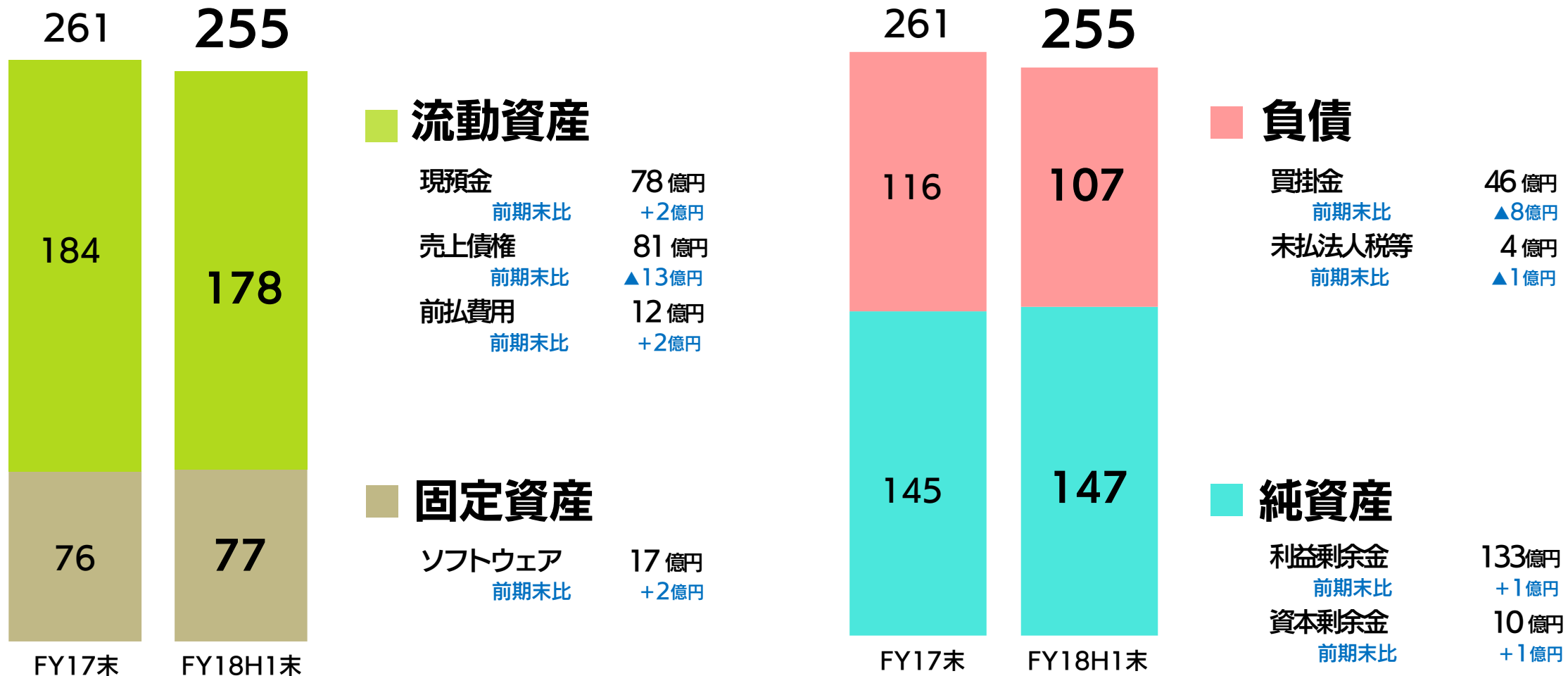
※前期以前の売上高及び限界利益の金額は、現在のサービス区分及び計上方法に則して算出しております。

連結 2019年3月期第2四半期業績 (前年同期比)

(百万円)	FY18Q2	FY17Q2	増減額	増減率
売上高	12,303	12,077	+225	+1.9%
限界利益	3,607 (29.3%)	3,496 (28.9%)	+111 (+0.4pt)	+3.2%
固定費	3,043	2,866	+177	+6.2%
営業利益	563 (4.6%)	629 (5.2%)	▲65 (▲0.6pt)	▲10.5%
経常利益	347 (2.8%)	614 (5.1%)	▲267 (▲2.3pt)	▲43.5%
親会社株主に属する 四半期純利益	231 (1.9%)	400 (3.3%)	▲168 (▲1.4pt)	▲42.2%

貸借対照表の前期末比

(億円)

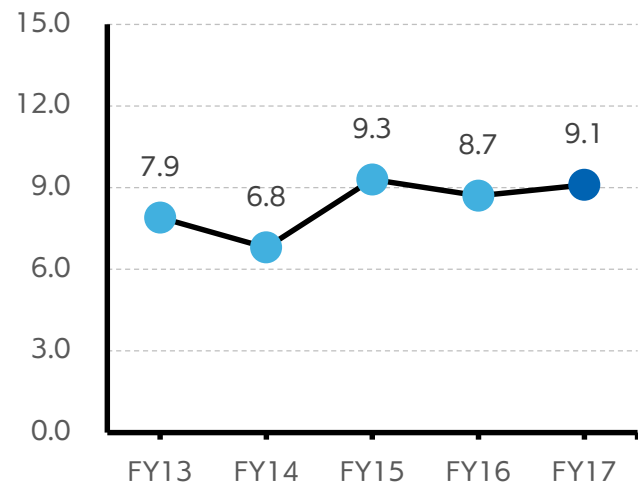


※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当第1四半期の期首から適用しております

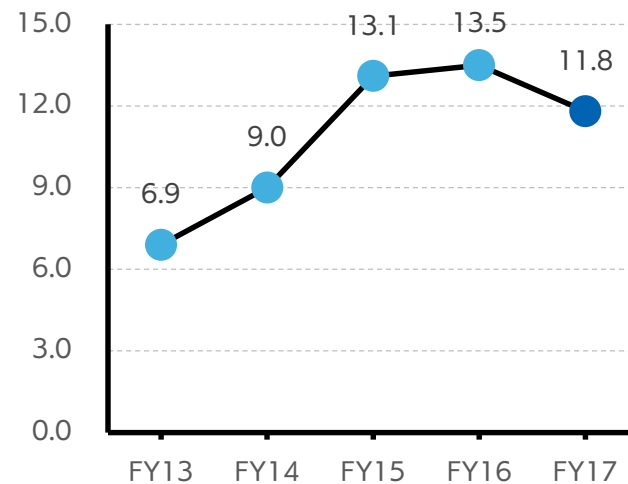
主な経営指標

SoftBank
Technology

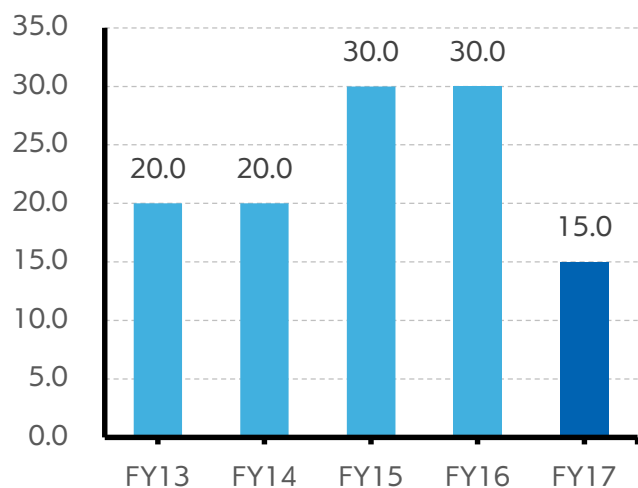
総資産経常利益率
(ROA)



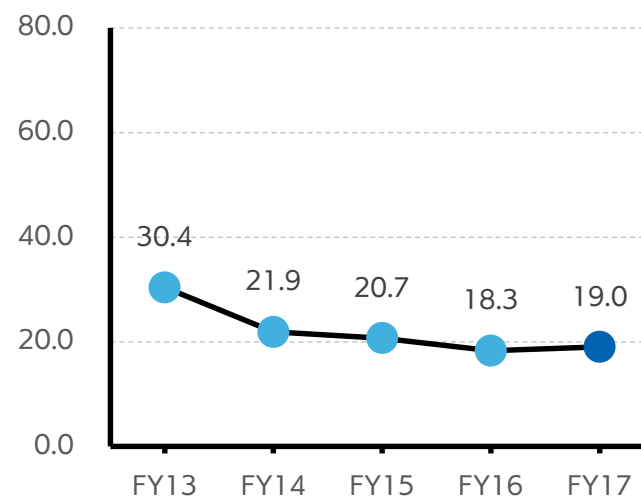
自己資本当期純利益率
(ROE)



配当金【円】(※)



配当性向【%】



(※)2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。株式分割前に換算すると1株につき30円00銭となり、前期と同額になります。

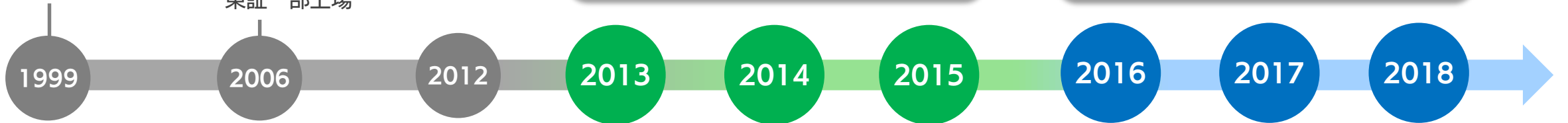
Appendix

第2次3か年計画

これまでの歩みと3か年計画

ソフトバンク・テクノロジーに商号を変更
店頭登録

東証一部上場



EC、IT商材の販売・構築

システムインテグレーション

プラットフォームソリューション

ECサービス

第1次3か年計画

注力領域の設定



クラウド



セキュリティ



ビッグデータ

事業改革

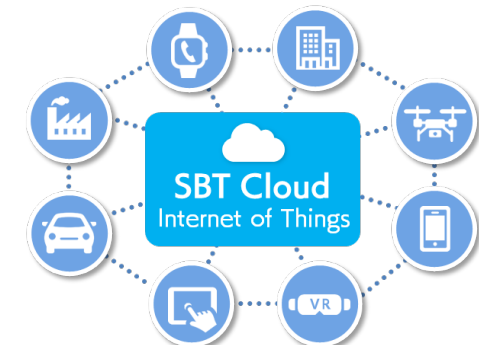
- 大きな仕事を受けられる企業へ
- 独自技術の保有で優位性を確立
- プロジェクト管理体制の強化

第2次3か年計画

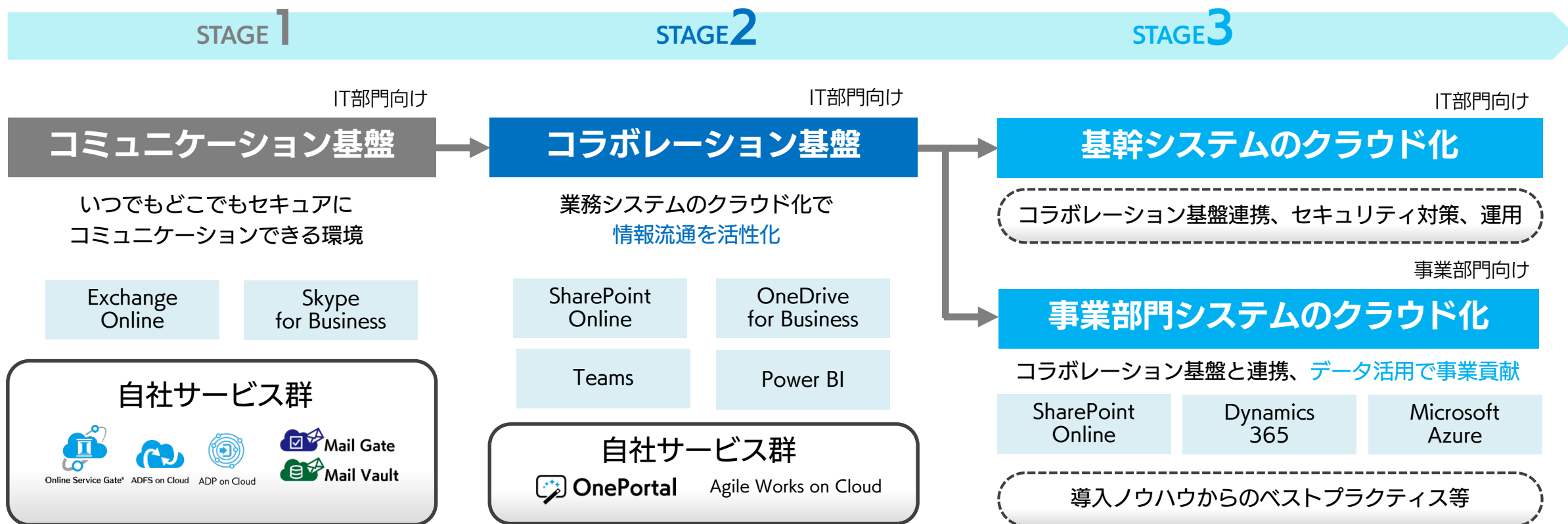
クラウドへの集約



IoTビジネスの開発

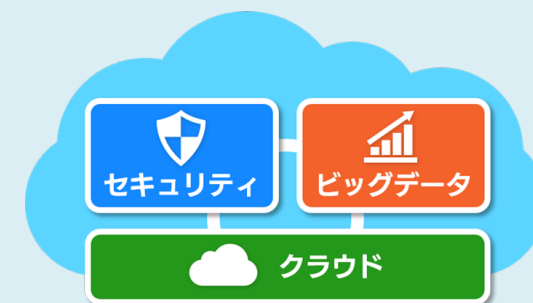


クラウドへの集約：コラボレーション基盤の知見を蓄積

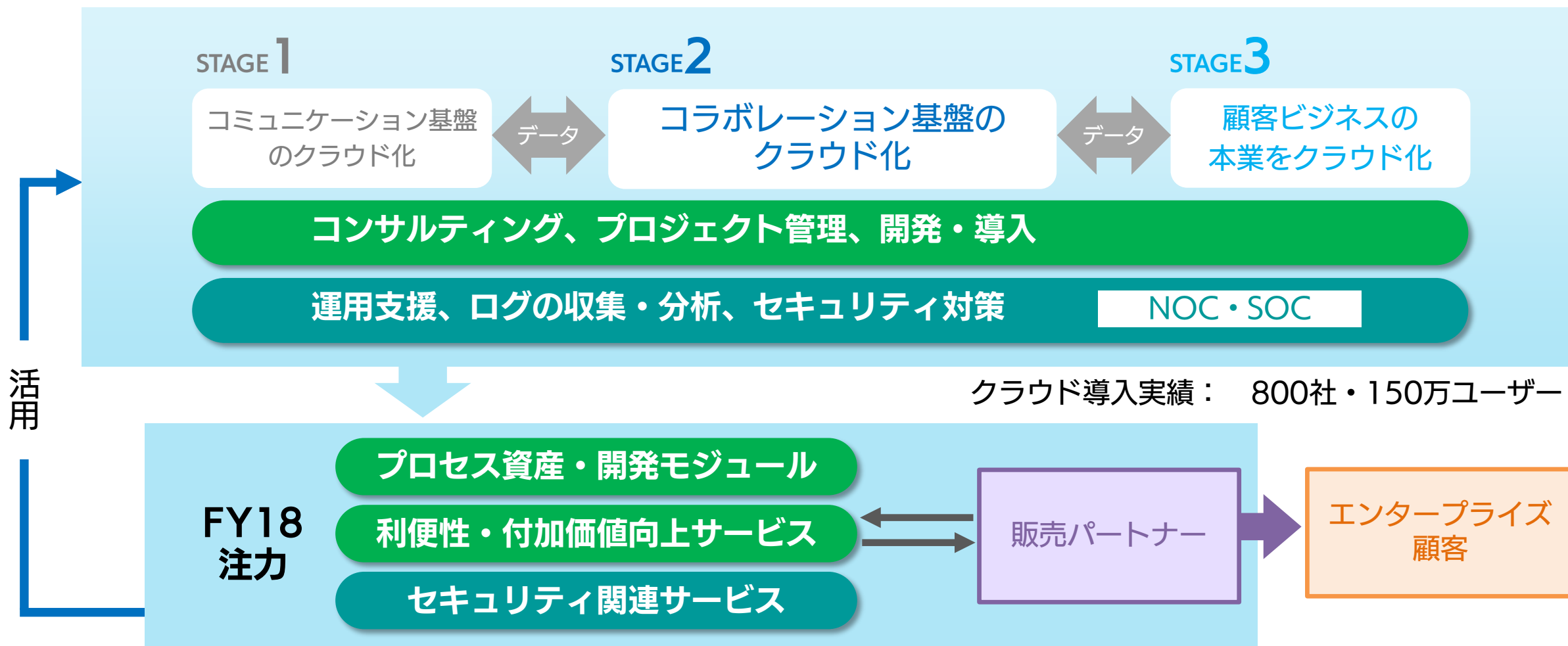


STAGE 2 のゴール

- 業種問わず共通、業種による特性等の見極め
- コラボレーション基盤のクラウド化による働き方改革等の成功モデル蓄積
- 付帯して必要となるセキュリティ対策のベストプラクティス確立

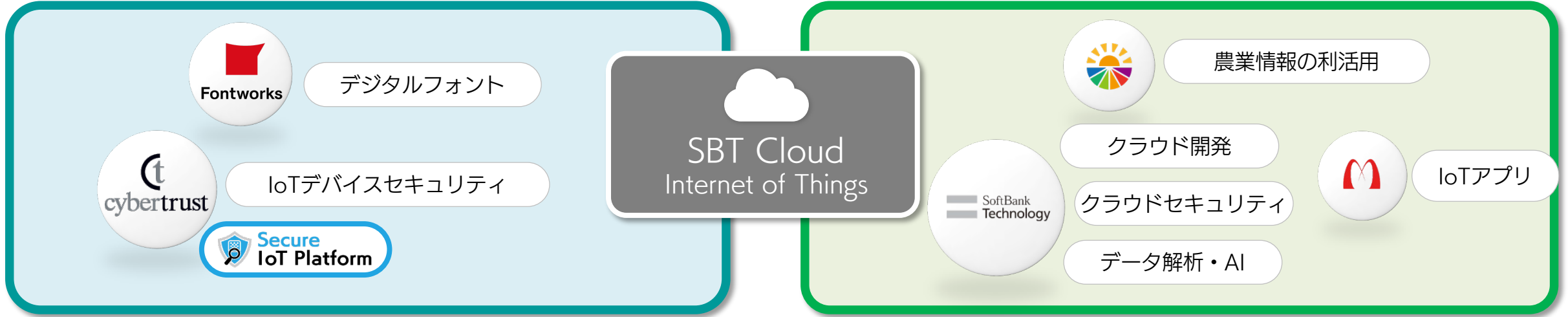


クラウドへの集約：蓄積した知見の収益化



得られた知見や資産をプロジェクトで活用、チャンネル販売も加速

IoTビジネスの開発：方針



チップ、ボード、組み込み領域から

ビジネスモデルは
月額サービス料、レベニューシェア

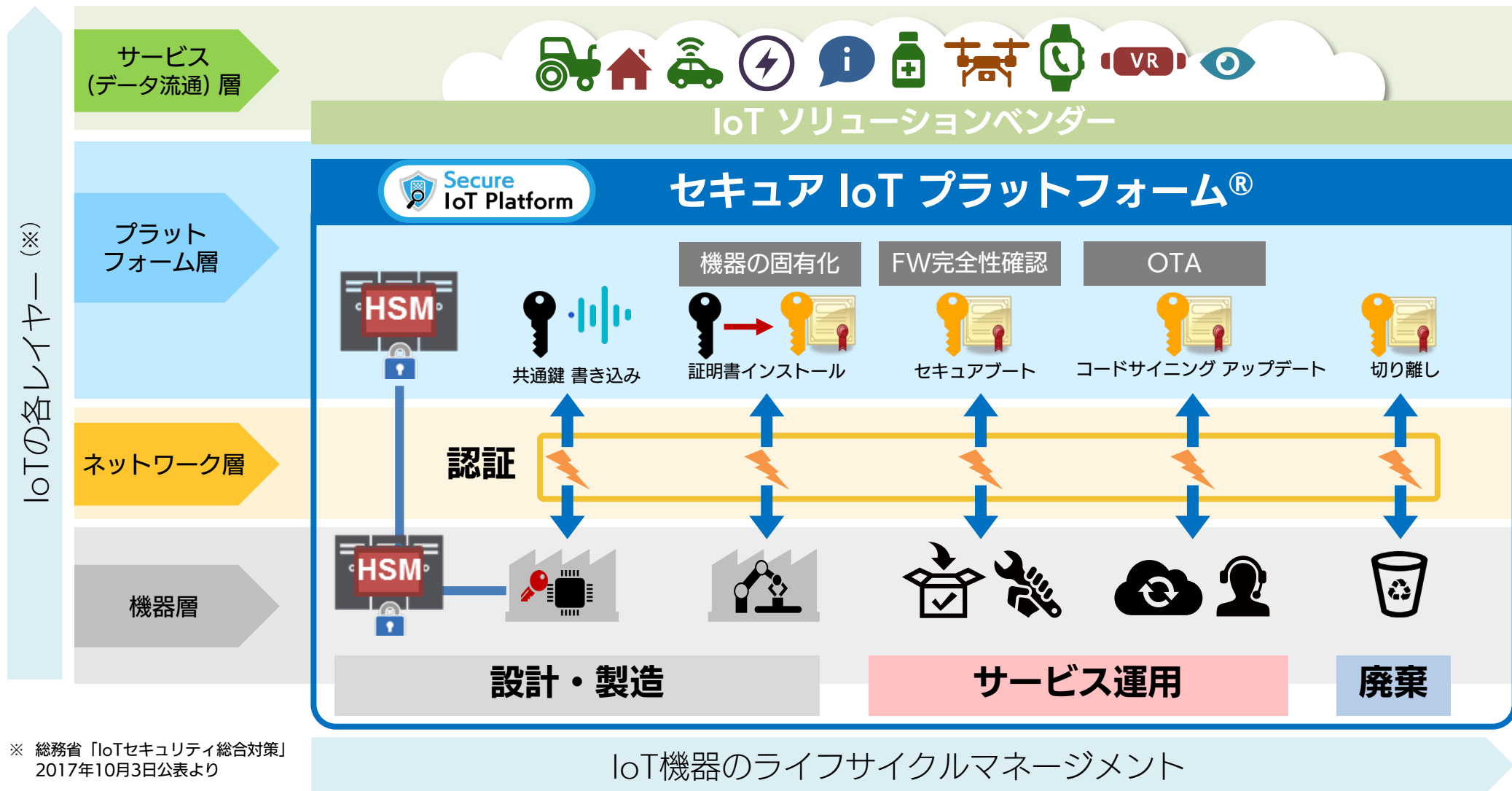
ソフトウェア、データ利活用から

クラウドビジネスの延長
開発から運用サービス

デバイスサイドからクラウドサイドまで一貫して価値を提供

IoTビジネスの開発：デバイスサイド

事業推進のストラクチャーを整備（合併） → 実案件対応メインにシフト



※ 総務省「IoTセキュリティ総合対策」
2017年10月3日公表より

IoTビジネスの開発：クラウドサイド

クラウドコンピューティング



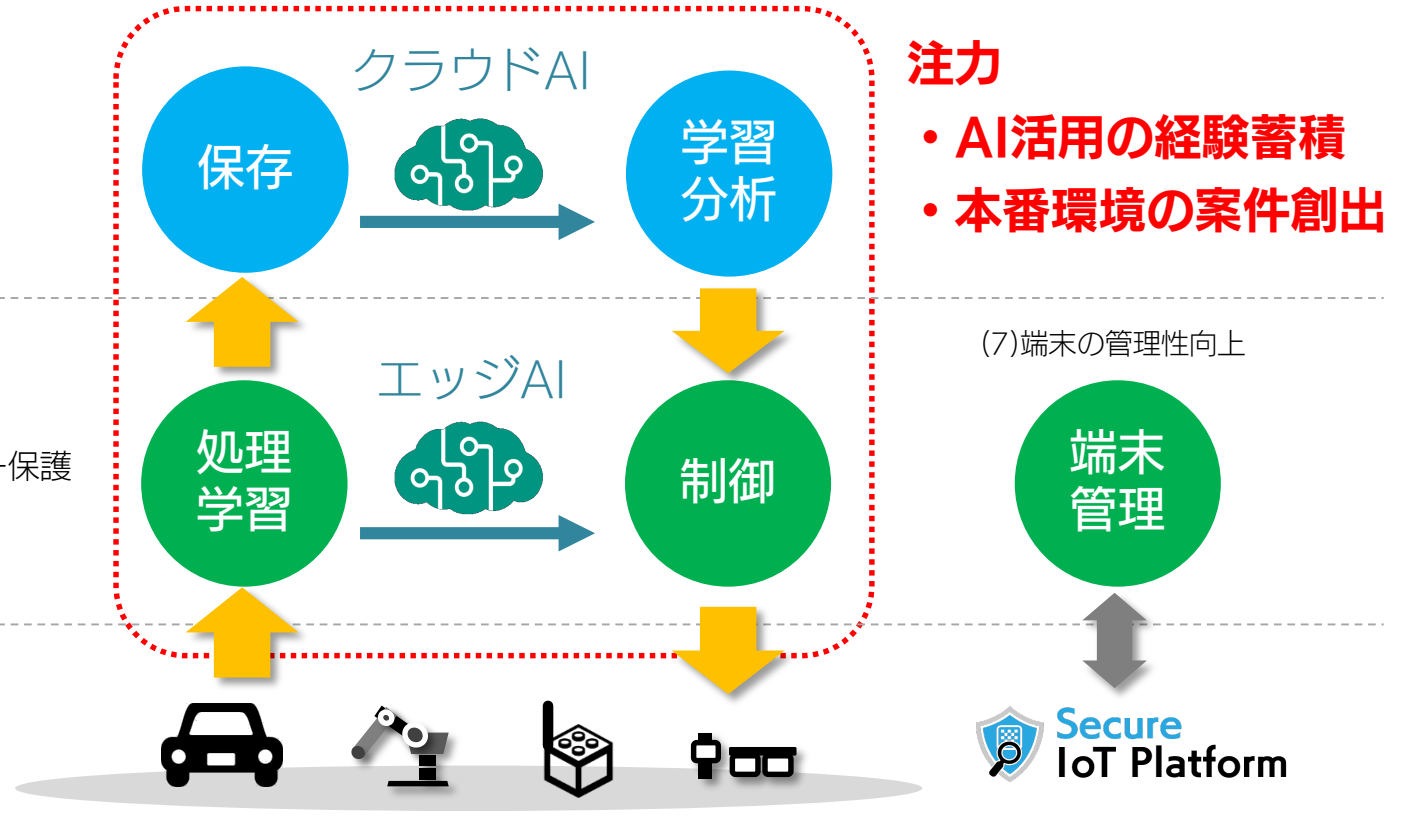
- (1)通信データの軽量化
- (2)通信の堅牢性向上

エッジコンピューティング

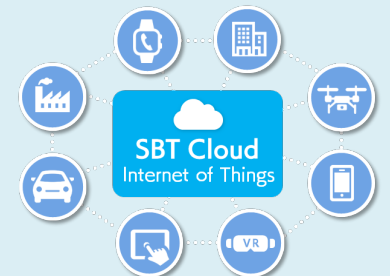


- (3)クラウドの負荷軽減
- (4)データのプライバシー保護
- (5)非力な端末アシスト
- (6)低遅延の端末制御

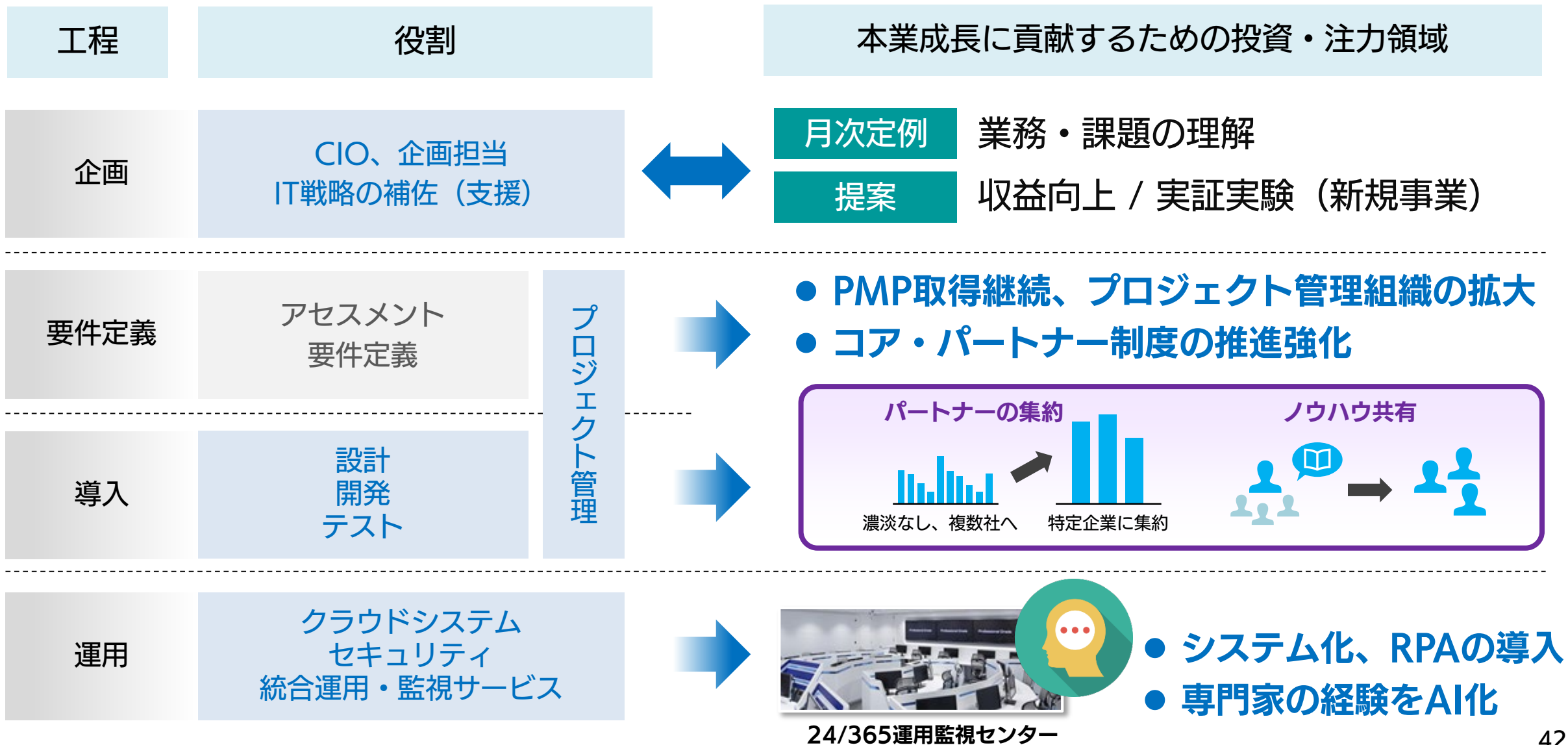
デバイス



- クラウドやセキュリティ運用に関する専門家の知見をAI化
- 得意分野のビッグデータとAIを組み合わせたデータ活用の推進
- データ活用モデルとIoTデバイスを組み合わせたビジネスモデルの確立



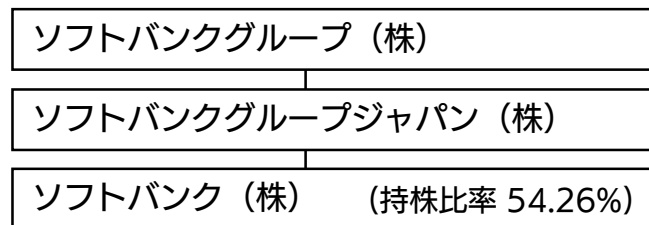
私たちが目指す「ビジネスパートナー」に向けた取り組み



24/365運用監視センター

会社紹介

グループストラクチャー



※ソフトバンクグループインターナショナル合同会社(2018年6月15日付で合同会社から株式会社に組織変更し、商号をソフトバンクグループジャパン株式会社に変更)は、2018年4月1日付で保有する当社株式の全てをソフトバンク株式会社に現物出資しました。これにより、ソフトバンク株式会社が当社の大株主に該当することになりました。

SoftBank Technology

M-SOLUTIONS株式会社
システムの設計・開発・運用および、モバイル・Pepper・IoT機器用等のアプリ開発

株式会社環
Webサイトのデータを分析・活用するためのツール開発および教育事業

アソラテック株式会社
農林水産省の委託事業として全国の農地情報を集約した「全国農地ナビ」の開発・運用

フォントワークス株式会社
PCや様々なIoT機器で、見やすく・美しく表示されるデジタル書体(フォント)を開発

サイバートラスト株式会社
IoTをはじめとするセキュリティ認証事業および組み込みソフトウェア事業

リデン株式会社
農業への新規参入や規模拡大など成長産業化を支援するためのICTサービス

商号	ソフトバンク・テクノロジー株式会社
設立	1990年10月16日
本社所在地	東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア17階
代表者	代表取締役社長 CEO 阿多 親市
上場市場	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード: 4726 業種分類: 情報・通信業)
資本金	885百万円 (2018年3月末)
連結売上高	49,140百万円 (2018年3月末)
連結従業員数	970名 (2018年3月末)
事業所	新宿オフィス(本社)、仙台開発センター、汐留オフィス、汐留開発ベース、汐留開発センター、名古屋オフィス、大阪オフィス、福岡オフィス、福岡開発センター、台湾支店
事業内容	ICTサービス事業
代表電話番号	03-6892-3050
認証	<p>ISMS 認証登録機関: 本社、汐留、大阪、福岡</p>

経営理念

情報革命で人々を幸せに ～ 技術の力で、未来をつくる～

ソフトバンクグループは、創業以来一貫して、情報革命を通じた人類と社会への貢献を推進しています。私たちソフトバンク・テクノロジーは、お客様が抱える様々な課題をICTサービスで解決することで、豊かな情報化社会の実現を目指してまいります。

事業ドメイン： ICTサービス事業

ワークスタイルを変革する



クラウド
ソリューション



システム
インテグレーション

安全なビジネスを支える



セキュリティ
ソリューション



ITインフラ
ソリューション

デジタル経営を支える



ビッグデータ



ECサービス

SBTの社員

2018年4月1日時点で連結従業員数は1,000名を突破しました。当社には、ITに精通したプロフェッショナルが多数在籍し、お客様のビジネスや業務を支えています。

また、セキュリティリサーチャーやデータサイエンティストといった専門家による講演活動やメディア・官公庁への情報提供なども行っています。

上級IT資格保有数

350^{※1}

女性比率^{※2}

17.5%

18年新卒

46名

平均年齢^{※2}

37.3歳

※1：SBT単体、2018年3月末時点におけるプロジェクト管理や情報セキュリティの国際的な認定資格、マイクロソフトのシステムエンジニア最上位資格などの保有数 ※2：SBT単体、2018年3月末時点

社員の大きな成長が、SBTの大きな成長の原動力

当社では従業員全体の能力を高め、生産性向上への取り組みを推進しています。



オン/オフ切替 (メリハリ)

- コアタイムなしフレックス制度
- PJコンプリート休暇



全社員フレックス
タイム制に移行し、
プレミアムフライデー
も運用中



成長支援 (優秀な人材の確保・維持)

- 新入社員グレードスキップ制度
- 資格取得支援



女性活躍推進法に
基づく「えるぼし」
認定の最高位を取得



ICT活用 (時間の削減と創出)

- 組織横断の情報共有
- Web会議、モバイル活用



近年のおもな受賞歴

クラウド関連



マイクロソフト ジャパン パートナー
オブ ザ イヤー 2018 受賞



2018 Titan Award
「APAC」 カテゴリーで Award 受賞



Microsoft MVP
Microsoft Azure 部門 アワード受賞
(2017) ※ エンジニアの個人受賞



マイクロソフト ジャパン パートナー
オブ ザ イヤー 2017 受賞



マイクロソフト ジャパン パートナー
オブ ザ イヤー 2016 国内最多3冠受賞



2016 Microsoft
Worldwide Partner Award 4冠受賞

セキュリティ関連



Imperva, Inc.
Top Growth Partner Award 受賞



マカフィー
Partner Award 2016 2部門受賞



日本ネットワークセキュリティ協会
JNSA賞 特別賞受賞



第27回 日経
ニューオフィス賞
オフィスセキュリティ賞 受賞

デジタルマーケティング関連



Sitecore MVP Award
2年連続 国内最多5名受賞
(2018)



Sitecore MVP Award
国内最多5名受賞 (2017)



Sitecore MVP Award
受賞 (2016)

その他



第7回日本HRチャレンジ大賞
採用部門優秀賞受賞
(2018)

GOOD DESIGN AWARD 2018

次世代Webブラウザのテキストレイアウトに関する検討会の活動が、グッドデザイン賞を受賞。SBTは「FONTPLUS」の提供などで貢献(2018)

資料留意事項

1. 一部のソリューションに関するサービス区分の見直しを行ったため、各サービス区分の前期以前の売上高及び限界利益の金額は現在の計上方法に則して算出しております。
2. 本資料に記載した各種グラフ内に表示している数値については、その端数処理の関係から、各種グラフ内の数値と決算短信に記載した数値に乖離が出ている場合があります。
3. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当第1四半期の期首から適用しております。

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、及びその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々なリスク及び不確実性が内在しています。実際の業績等は経営環境の変化等、様々な要因により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料は当社グループの業績や事業進捗等に関する情報提供を目的としており、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。

情報革命で人々を幸せに

～ 技術の力で、未来をつくる～

 SoftBank Technology